

別冊

# 御浜町立小・中学校適正配置基本計画

～少子化を見据えた魅力ある学校づくりに向けて～

## 資料集

令和7年（2025年）3月

御浜町総合教育会議

## — 目 次 —

【資料 1】「今後の御浜町の小中学校の在り方に関するアンケート」集約結果～「御浜町学校規模適正化計画（仮称）」の策定に向けて～

（令和 4 年 1 1 月）

【資料 2】今後の御浜町の小中学校の在り方に関する保護者説明会「少子化を見据えた学校規模の適正化・適正配置に関する保護者意見（概要）」

（令和 5 年 4 月）

【資料 3】「少子化を見据えた学校規模の適正化・適正配置に係る基本的な方向性（案）」の検討に係る保護者アンケート集計結果

（令和 5 年 1 0 月）

【資料 4】少子化を見据えた学校規模の適正化・適正配置に係る「基本的な方向性 1」の具体化案について《アンケート集計結果》

（令和 6 年 5 月）

【資料 5】少子化を見据えた学校規模の適正化・適正配置に係る「基本的な方向性 3」の具体化案について《アンケート集計結果》

（令和 6 年 7 月）

【資料 6】少子化を見据えた学校規模の適正化・適正配置に係る「基本的な方向性 2」の具体化案について《アンケート集計結果》

（令和 6 年 1 0 月）

【資料 7】御浜町立小・中学校適正配置基本計画（素案）のパブリックコメント（意見募集）《集計結果》

（令和 7 年 2 月）

【資料 8】「御浜町立小・中学校適正配置基本計画」へみんなの想いや考えを！～御浜町の魅力ある学校づくりに向けて～《児童・生徒アンケート集計結果》

（令和 7 年 2 月）

## 【資料 1】「今後の御浜町の小中学校の在り方に関するアンケート」集約結果

～「御浜町学校規模適正化計画（仮称）」の策定に向けて～

令和4年11月 御浜町教育委員会

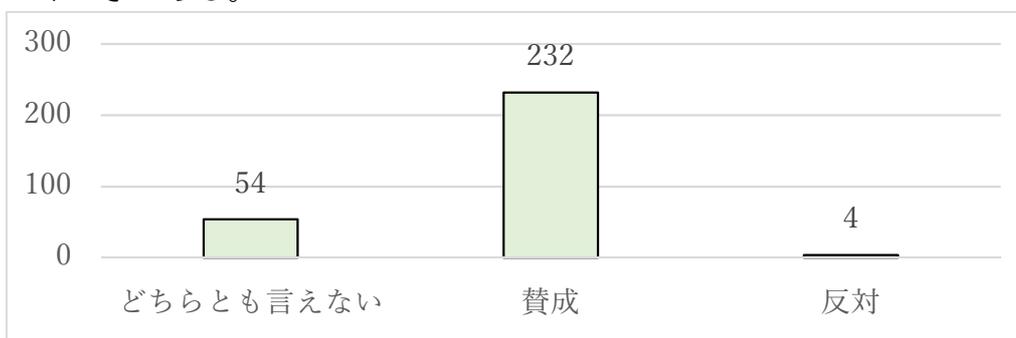
\*アンケート対象：町内小中学校、認定こども園、未就園児の保護者

回答数：290件 回答率：およそ56%（注）

（注）複数回答可としていますので、回答率は「およそ」としています。

### ◎基本的な考え方

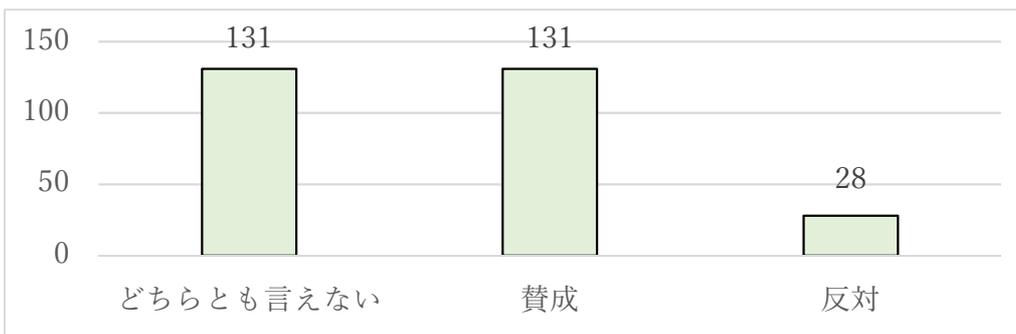
1. 今後の少子化、防災上の課題、校舎の老朽化等の現状を踏まえて、学校規模の適正化は進めていくべきである。



2. 少子化が急速に進行している現実を踏まえ、もっとスピード感を持って、大きな方向性を示し、それに沿って話し合いを進めるべきである。

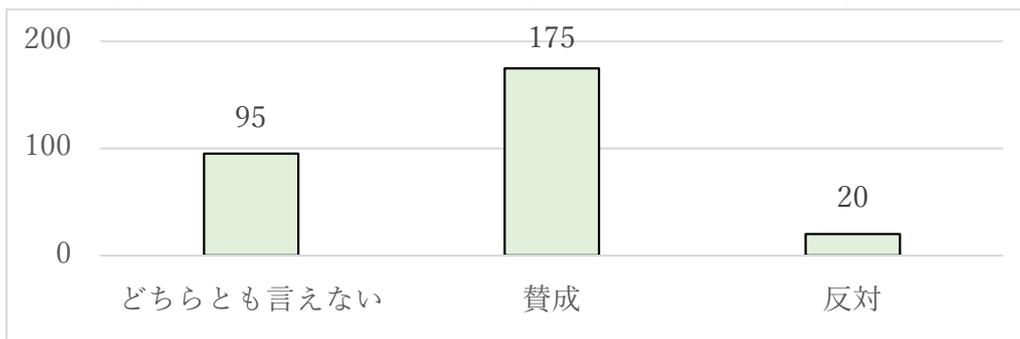


3. 各地域の活性化にとって学校の存在意義は大きいので、現在の小中学校は残すべきである。

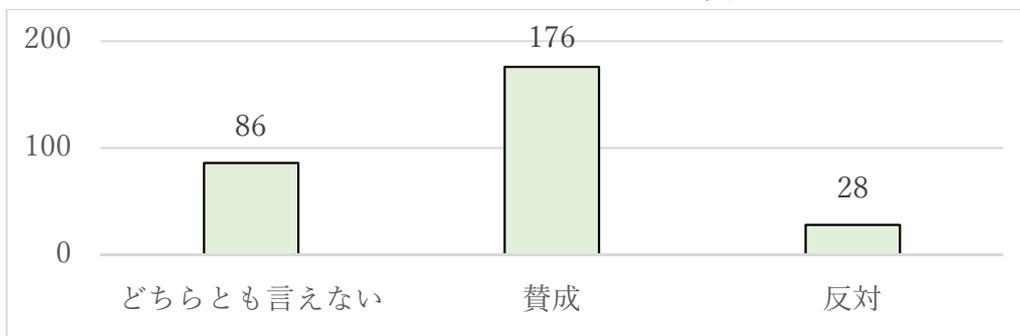


◎学校規模の適正化、適正配置を検討する際の課題

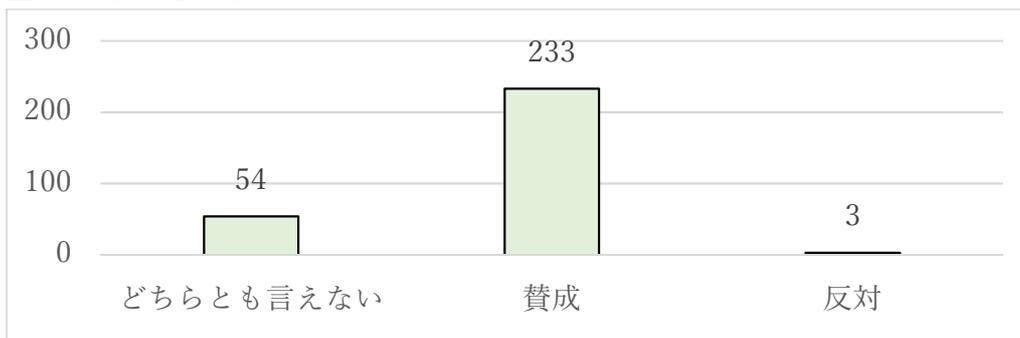
4. 町内のどの学校にも通うことのできる通学用スクールバスを運行するべきである。



5. 町内で1校にまとめるのではなく、人数の多い学校で切磋琢磨したい、少人数で丁寧な指導を受けたいなど、一人ひとりのニーズに応じた選択ができるようにすべきである。



6. 将来、子どもを町内の小中学校に通学させることになる未就学児や幼児の保護者の意見を尊重すべきである。

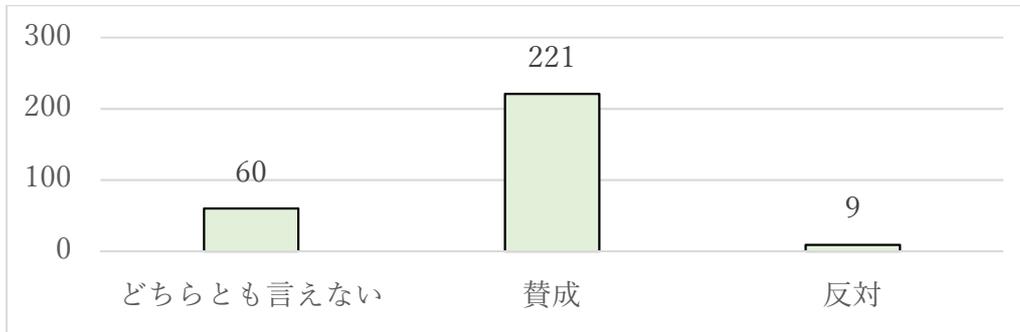


7. 中学校の部活動が成立するような比較的大きな規模の学校が必要である。



## ◎今後の町の活性化と関連して

8. 町内の学校それぞれが特色化を進め、児童生徒の多様性に応じた教育に取り組むことにより、町外からの移住者の増加が期待できる。そのためにも、町内学校の校区を自由化し、一人ひとりの子どもにあった学校が選択できるようにすべきである。



- ◎「御浜町学校規模適正化計画（仮称）」に関して、その他にもご意見があれば、お書きください。

たくさんのご意見をいただきました。ありがとうございます。紙面の都合上、すべてのご意見を載せることができませんので、「御浜町学校規模適正化計画（仮称）に関するご意見」についてお伝えさせていただきます。ご理解をいただきますようお願いいたします。また、重複する意見についても整理させていただいています。

### 適正配置に関する意見

御浜小学校の校舎がとても古くて薄暗い場所が所々にあり、雰囲気良くないと感じる。トイレも壊れている所もあり、階段の踊り場にある手洗い場も使い勝手がわるそうに見える。子ども達が、明るく元気に気持ち良く過ごす事ができるように、校舎の建て直しをして頂きたい。

大人の意見ばかりではなく子供達の意見も聞いてあげて欲しいです。1つにまとめても1クラスにするのではなく、少人数に分けクラス替えして欲しい。

クラス替えができるように配慮してほしい。子供同士で揉めたりした時、6年間同じクラスで逃げ場がなくなる＝不登校になると思います。不登校が悪いのではなく子供が通いやすい学校作りをしてほしい。学校の設備、トイレももう少し改修して頂きたい。学校のことも含め、もう少し子育てしやすい環境作り、町作りが必要では??

当方は阿田和地区ですが、これだけ子供が減少している状況で保育所、小学校、中学校とずっと10人前後の同じメンバーで過ごすのはさすがに心配しています。その少ないお友

達の中に気の合う子供はいるのか？広い視野を持てず偏った考えの子供にならないか？等、心配事が多いです。チラチラと阿田和小学校も老朽化や津波問題を耳にしますが、小学校は御浜を利用し、中学校は阿田和を利用する形で学校を一つにまとめる案が良いのかなと漠然と考えています。もちろんスクールバス等は必要ですが、こういった形になるのか、これから課題は多いと思いますが、複式学級が誕生するまでに早めの決断が必要だと感じています。

目標が令和7年までとあるが、もう少しスピード感を持ってやられた方がいいと思う。

町内の小学校を1つまとめるよりも、阿田和小学校を阿田和中に移して、小中学校にする方が送迎の負担も減ると思います。阿田和保育所の移転の話もあるそうですが、保育所も阿田和中学校にまとめて地域の特色を出せばよいと思います。

少子化に伴い、全国的に学校の統廃合がすすめられているが、小学校へ通う生徒や先生方、そして保護者のコミュニケーションを十分に取り入れながら柔軟に進めて頂きたいと思っています。そして 特別支援学級の児童も特性にあった合理的配慮をお願いしたいと思います。

少子化に伴う統廃合はやむを得ないと思います。ほとんど生徒がいなくても関わらず、従来通り運営するその負担が町民税にのしかかるのであれば、住民の理解が得られないでしょう。

子どもの人数が減っているため学校の統合は差し迫った現実だと思います。統合してもしなくても、その時の登下校、先生方の家庭訪問や、登下校の交通安全指導については、決まったときに考えるしか無いと思います。全員が満足する案は無いです。学校から遠い場所の親子が不利にならないように良い案を立ててくださると助かります。

人口規模が縮小する中、町内に小中学校を各1校に統合するべきではないでしょうか。設問5の一人ひとりのニーズに応じた選択は、1校に統合しても可能であると思いますし、在校生の規模が多いほうが多面的な対応が可能ではないでしょうか。子供たちの成長過程においては、多くの人に触れあうことで社会性がはぐくまれると思います。そのうえで、ニーズに合わせた選択ができればと思います。また、学校が地域の活性化の中心であることも理解できますが、まずは今後、小学校や中学校に通うことになる子供たちやその保護者の意見や希望を尊重してもらいたいです。

将来の出生人数、こどもの人数に合わせて学校規模の適正化をはかってほしい。また、課題のある子どもたちが将来少しでも伸びるよう、専門職を配置した専門的なクラスを作って欲しい

少人数で学校生活を行うメリット、デメリット両方あると思うので、それぞれが希望す

<p>る学校に行けるのはいいと思うが、人数が少なすぎると学校行事が行えなかったり、登下校が1人、2人になったり不安な事も多くなるので、最低限の人数確保が必要になると思う。</p>
<p>町内の学校を一校にすると尾呂志学園のような小集団の良さを生かした取り組みができないと思います。大小1校ずつも良いのではないのでしょうか。</p>
<p>各学年、クラスの人数は適正なのでしょうか。</p>
<p>少人数の尾呂志学園、大人数の御浜小を残して統合し、給食費の負担を減らしてほしい。</p>
<p>広域での入学予定なのですが町内児童と費用面などであまり差ができないようにしていただきたい</p>
<p>小学校は減らす方がいいと思います。そうすると、スクールバスもいると思います。</p>
<p>考え得るパターンを洗い出して、メリットデメリットを提示しないと、色々なことが判断できない</p>
<p>何か子どもたちに不都合なことが起こってから政策が行われるのではなく、我々のニーズをいち早く汲み取って早急なお取り組みをお願いします。</p>
<p>尾呂志学園のように、地域住民も協力してくれるコミュニティスクールを増やした方がいいと思う。また、尾呂志学園に通学しやすいよう、スクールバスを運行して欲しい。</p>
<p>阿田和保育園も移転の件があるので小学校と一緒にしたらいいと思います。</p>

## 通学（手段）に関する意見

<p>スクールバスは各人に不便が生じないよう本数やルートを増やす必要がある。つまりバスの台数を増やして対応する必要がある。6.は未就学児や幼児の保護者の意見「も」尊重すべきである。</p>
<p>通学路の危険な場所があり、いつも、保護者が付いていけないのでスクールバスは、あった方がいい</p>
<p>仮に校舎を新しく建築するなら、予定地が徒歩圏内かそうでないかで上記のアンケートの回答が変化します。</p>
<p>現在生徒数が少ないため部活動も満足にできないと聞いています。自由に学校を選択出来れば好きな部活動が出来ていいのではと思うものの、部活を変えたくなくなったときに転校するのか？という問題もあり…難しいですね。スクールバス導入はいいと思いますが、それによって運行代整備代なども必要になったり、親が送迎できる日もあると思うので、無料ではなく、利用者が月額や週ごと、または定期券のようなものを購入する形だと嬉しいで</p>

す。また、阿田和小学校は水害の危険が非常に高いので、保育園を移転するなら小学校もでは？と思いました。

防犯や事故の回避の為に遠くから通う子供たちの為にスクールバスを運行する事は必須だと思います。親の負担も軽減できるはずです。

神志山小校区の子ども達の為にスクールバスを運行して御浜小に統合しては？と考えています。中学もほぼそのままの子達があがるし、安全面を考慮しています。阿田和は、水が浸かる、川と海が近いので、このまま児童数が減れば阿田和中(今は教室が足りないそうですが、いずれ)や尾呂志とも考えては？と思います。今は校区でなくても、親御さんが送迎していたり、住まいも現状や先を考えて決めていると思います。通学させたい、したい学校の心配はしなくてもいいのかなと思います

通学路を安全にしてほしい。

中学校は自転車での登下校ができるから多少遠くなくても仕方がないかと思います。雨天時の送迎がしやすい駐車スペースがあると良いです。部活動は今あるものを残してほしい。

## 統合に反対する意見

少子化だからといって、町内の学校を統合することには反対です

少子化が進んでも今の学校はそのまま存続してほしい。学校がなくなるとその地域に若者が定住しなくなる。

## 防災面に関する意見

阿田和小学校の場所は保護者からすると、もしもの時の不安が大きいです。

地震が起きた時の小学校があ場所では駄目。一刻も早く小学校をどうにかしてほしい。

阿田和小学校はとくに、東南海トラフ地震がきたら、津波が1番心配な場所なので、大切な子供の命を守る事を考えると必然と答えが出ます。迅速な対応をお願いします。

今後、何校かをまとめる案が出ているのなら、その場所は災害被害の低い場所をお願いしたいです。巨大地震が必ずくると言われているので、既存している学校の建築年数や耐震補強より立地条件を第一に(いくら耐震構造に長けていても津波で浸水しては意味がないので)子供の安全が守れる場所をお願いしたいです。

阿田和小学校を早く高台に移動させてください。

子供達の命を守る事を優先した計画を進めて欲しいです。

## 【資料 2】

今後の御浜町の小中学校の在り方に関する保護者説明会

### 少子化を見据えた学校規模の適正化・適正配置に関する保護者意見（概要）

令和 5 年 4 月 御浜町教育委員会

#### 1. 説明会への参加者数

	御浜小	尾呂志学園	阿田和小	神志山小	計
保護者	31	10	15	9	65
学校運営協議会委員	1	5	4	1	11
教職員	13	3	6	6	28
計	45	18	25	16	104

#### 2. 各小学校区の説明会での主な意見等

- \* 紙面の都合上、少子化を見据えた学校規模の適正化・適正配置に係る意見を中心にまとめさせていただきました。また、重複する意見等も整理しています。
- \* 【教委より】は、説明会の際の町教育委員会担当者の発言です。

#### ◎御浜小学校区

\* 日時：令和 5 年 2 月 8 日 19:00～ \* 会場：御浜小 音楽室

- ・現在の町内の小中学校にはそれぞれに特色がある。規模の大小よりも中身（教育内容）が大事。その辺りは現場の先生方の話を聞いて考えてほしい。
- ・いじめの問題があるので同じ小学校や中学校は嫌という意見もある。学校は分けてほしい。安全な場所にあるのが一番。
- ・いじめの問題があるので、1 クラスだと逃げる場所がなくなる。クラスを分けてあげるといい。逃げる場所を作ってあげてほしい。
- ・新しい校舎を建設する場合、人数の問題があるが、安全な場所に建ててほしい。安全面を考えると御浜小が安全なのかなと思う。自分の子が通っているからではなく、高台だし、道路の状況も良いので。先々のことを考えて建設することが大事。
- ・アンケートをいただいて、改めて小学校や中学校のことを考えるきっかけになった。今ある学校に通うことは当たり前と考えていたが、当たり前ではないのだと感じた。個人的には、自分の通っていた学校に子どもも通ってほしいという思いがあるが、町の運営を考えた時に統合もやむを得ないというのも理解できる。
- ・19人と少ない部分ばかり言われるが、その次の年は40人になる。悪い部分ばかりを見るのではなく、町として子どもを増やしていくような取組も必要ではないか。
- ・小中学校ともに、少ない学校の良さもあるが、個人的には人数の多い学校に子どもを通わせたい。歩いて通える所がいいが、遠方の児童にはバスを出してほしい。学校がなくなるのは地域としては痛いと思う。

## ◎尾呂志学園小学校区

\*日時：令和5年2月10日 19:00～

\*会場：尾呂志学園 ランチルーム

- ・5月から娘が尾呂志学園に通っている。20何年振りに御浜町に戻ってきたが、思った以上に明るく、学校も元気で嬉しかった。ただ財政的に考えても、今後学校がこのまま残るのは厳しいと思う。いろんな施策があるので、町もバランスよく進めないといけない。ただ、何を優先していくか。スクールバス等にしても、全て行政にやってもらうのではなく、民間や父兄などでできることはないのか、一緒に考えてプランニングしていかないとはいけないと思う。
- ・移住して2年。学校ありきで移住先を探していたが、地域性や学校での活動に惹かれて尾呂志に来た。娘は、大規模の学校に通っていたが合わなかったのも、尾呂志なら合うかなと思った。実際来てみるとやはり合っているようで、先生たちに見守られ、今は大事な学校になっている。どこの学校が合うかなという視点で移住している人はいると思うので、尾呂志学園小中は残ってほしい。
- ・子は発達に課題があるが、少人数で手厚く見てもらっている。そういう子は増えているので、少人数の学校は何校あってもいいと思う。勉強を進めていきたい学校と、ゆっくりやっていきたい学校があってもいいのでは。
- ・移住して3年。尾呂志学園小中学校は少人数で、地域に根差した学校と感じて移住を決めた。子は重度のアレルギーがあり、ここなら安心して通わせられると思った。個人的には少人数の学校は、病気のある子には大切な場所だと思っている。

## ◎阿田和小学校区

\*日時：令和5年2月14日 19:00～

\*会場：阿田和小 パソコン教室

- ・防災面を考えると、現在の阿田和小にいつまでも通わせたいと思っている保護者はいない。統合するのであれば、阿田和中と統合、または阿田和保育園と統合するという方法もあるのではないかな。
- ・阿田和小の高学年の児童は数年したら卒業するが、低学年の児童はあと何年も通うことになる。防災面を考えると、もっとスピード感を持ってやってほしい。

【教委より】アンケートでも「スピード感を持って」という意見が多かったので、今回の説明会も前倒しして開催させていただいた。適正化計画の策定もなるべく前倒しして進め、総合計画の後期計画で実行できるように、少しでも早く取り組んでいきたい。

- ・統合等によって新しい学校になった際には、阿田和小の先生方も一緒にその学校に行ってほしい。子どもにとって大きく環境が変わらないように配慮してほしい。
- ・適正化計画を策定するまでの間、阿田和小を阿田和中に移転することはできないのか。
- ・適正化計画ができるまでの間、阿田和中にプレハブでも建てていただいた方が安心。そういう対応をしてもらった上で、適正化計画を策定してもらったらい。

《阿田和小の阿田和中校地への移転を検討する際の課題》

阿田和中は高台にあるため、津波の被害を受ける可能性は低いと言えます。

そこで、保護者会での意見（要望）をもとに、阿田和小の阿田和中校地への移転について検討したところ、町の防災担当の助言によると、阿田和中の裏の斜面は「土砂災害特別警戒区域（急傾斜地）」に指定されており、大雨や地震の際に土砂災害の被害が起こる可能性が少なくないとのことでした。この状況を踏まえると、プレハブ仮校舎を建てて阿田和小を阿田和中校地へ移転させる案については、登下校時の土砂災害や通学路での津波被害の危険性などもあわせて防災面から考慮すると、阿田和中以外の施設への移転も検討せざるを得ませんし、併せて阿田和中の移転についても検討する必要があると言えます。

【参考】御浜町防災ハザードマップ（洪水・土砂災害ハザードマップP14）

御浜町 HP：「もしものときに」横の「防災情報について」→御浜町防災マップ

<https://www.town.mihama.mie.jp/material/files/group/2/hazardmap.pdf>

## ◎神志山小学校区

\*日時：令和5年2月16日 19:00～

\*会場：神志山小 イングリッシュルーム

- ・現在の小中学校を残すべきというアンケート項目で「どちらとも言えない」が多かったが、どうやって残すかが重要だと思う。児童が1人になっても残すのか。私の子は神志山小に通っているが、児童の人数が少なく、行事等を見ていると学校として機能していないのではないかと感じることもある。
- ・小中学校ともに、大規模校と小規模校のどちらも望まれる保護者はいると思う。小規模校であれば行事等が成り立たないという面はあるが、手厚い指導が受けられるなど良い面もあると思う。
- ・学校をコンパクトにした場合、浮いた予算を教育や子育て施策に回すなど、子どもに還元できるよう、メリットになるように進めてほしい。
- ・校区を自由にするのであれば、小学校は4つもいららないと思う。
- ・大規模校で切磋琢磨させたい保護者もいると思うので、小中学校ともに大規模校1校と小規模校1校があったら良いし、校区制ではなく自由に学校を選べるようにしてほしい。学校を1つにまとめるというのはあまり魅力がないと思う。
- ・同級生がいないというのは本当に大きな問題だと思う。私自身も神志山小を卒業しており、当時同級生が7人いたが、御浜中に入った時にはアウェー感があった。神志山小で同級生がいない場合は、1人で御浜中に入学することになるので、なおさら可哀想。そもそも論になるが、いかに同級生をつくれるか、人口を増やす努力をしてほしい。
- ・学校をどう残すかが重要。小規模校は、授業の面では1対1など手厚い指導が受けられるので良いと思うが、行事は成り立たないので、他の学校と合同するなど、考えていく必要がある。神志山小は母校なので残ってほしいという思いはある。

## ◎今後の方向性に関する意見《複数の会場》

### ※今後の保護者の意見を聞く機会について

- ・教育委員会としては一つにまとめようとしているのか、小学校4校をそのまま残すのか、どっち寄りの考えなのか。

【教委より】教育委員会として具体的な方向性を決めているわけではない。ただし、小学校4校を存続するのは難しいと判断している。学校規模の適正化計画を策定する必要があるということは、前回の保護者アンケートの設問5にもあったように、小学校と中学校をそれぞれ一つにまとめる方がよいのか、大きい学校と小さい学校が選択できるようにする方がよいのかなどの具体的な適正化の方向を決めていく必要があるということ。だからこそ、このような適正化に関する具体的な意見を聞かせてほしい。そのような保護者の意見をしっかりと参考にしたうえで、今後の具体的な方向性を示していきたい。

- ・適正化の主旨や考え方は何なのか。一人ひとりの意見を聞いていたらまとまらない。町としての方向性を示してもらった上で、ベストではなくてもベターな方法がないのかという話をするべき。道筋を示した上で検討をするべき。今後そのような機会があればお願いしたい。

【教委より】今回の4か所の説明会で出された適正化に関するさまざまな保護者の要望や意見を参考にしながら、令和5年度の教育委員会議等で適正化に関する具体的な方向性を検討していく予定。それらの課題について具体的な方向性が整理されてきたら、（途中経過として）改めてアンケート等で保護者に意見を聴取するような機会を設けたい。そして、それらの保護者の意見も踏まえた具体的な方向性を計画案として提示し、パブリックコメントなどで町民にも意見を求めている。

- ・このような説明会の場ではなかなか意見が出しにくい。アンケートの方が、保護者も意見を出しやすいのではないかと。子どものことなので、真剣に考えている保護者ばかりだと思うので（アンケートで意見を求めても、いい加減な回答はないだろう）。
- ・町としての方向性が決まった段階で、保護者にアンケートをしてもらえたらありがたい。今回の説明会だけを以って、勝手に進められても困る。

【教委より】他（各）地区でも具体的な方向性がある程度見えてきた時に、改めてアンケートをしてほしいという要望もあったので、その方向で検討。

### ※スクールバスについて

- ・町の住民はそれぞれ2校の小中学校から通う学校を選択でき、町負担で通学バスを走らせて通学に支障のないようにしてほしい。
- ・スクールバスは必要だと思うが、財政面でスクールバスを走らせることは大丈夫なのか。保護者で送迎してくださいということにはならないか。

【教委より】統合となると通学距離が長くなるし、保護者の負担を考えるとスクールバスは必要と思われる。そこで、スクールバスの件については今回のアンケート項目に入れて、保護者の意見を聞かせていただいた。また、まだ方向性が決まっていないので、具体的な試算等はしていないが、4校を存続するよりスクールバスを走らせる方が財政的な支出は少なくなると思っている。

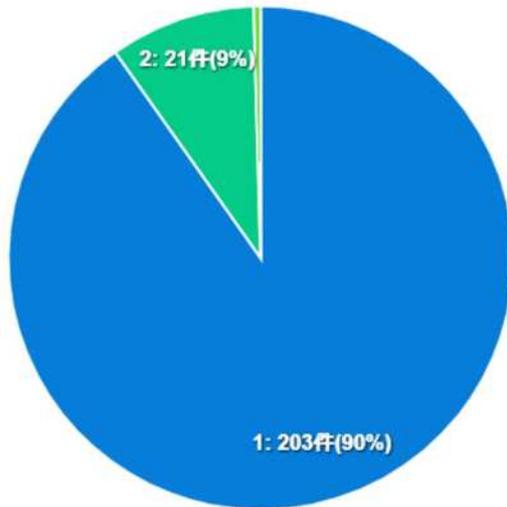
### 【資料3】「少子化を見据えた学校規模の適正化・適正配置に係る

#### 基本的な方向性(案)」の検討に係る保護者アンケート集計結果

令和5年10月

御浜町教育委員会

(1) 子どもの数が極端に少なくなり、保護者が子どもの成長や学校生活に不安を感じるという保護者の意見も出されている。そのような中、今後も児童生徒数が減少していく状況を踏まえると、学校の統合もやむを得ない。



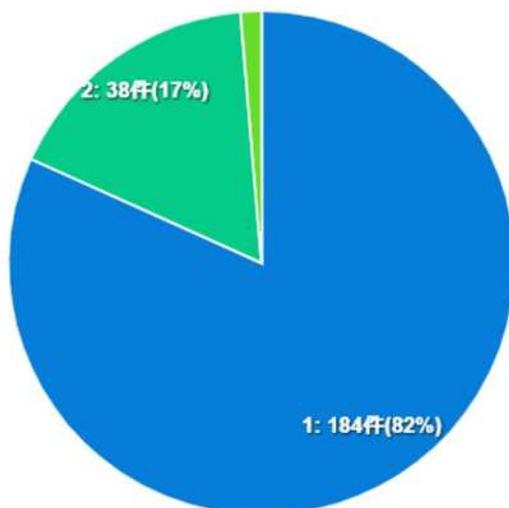
- 1. はい
- 2. いいえ
- 3. 未回答

	件数	%
1.はい	203	90%
2.いいえ	21	9%
3.未回答	1	0.4%

#### \* (1) 「いいえ」の主な理由

- ・御浜小と阿田和小が統合するのはもう少し先でもいいのではないかと、阿田和小での今の人数がちょうどいいと思う。もう少し極端に減るなら統合も仕方ないと思う。
- ・自宅から歩いて通える小学校があるほうがいいと思う。保育所を卒園し送り迎えが当たり前だった生活から、自分の足で学校まで歩いて、車や横断歩道など危険な場所も自分で察知する力を身につけてほしい。知らない地域の人にも自分から挨拶できるようになってほしい。
- ・地域との繋がりや少人数を活かした教育をしてほしいから

(2) 子ども一人ひとりの個性やニーズに応じて学校を選択できるよう、町内の校区を自由化し、小学校・中学校ともに、それぞれ規模の大きな学校と小さな学校の2校ずつに統合した方がよい。



- 1. はい
- 2. いいえ
- 3. 未回答

	件数	%
1.はい	184	82%
2.いいえ	38	17%
3.未回答	3	1%

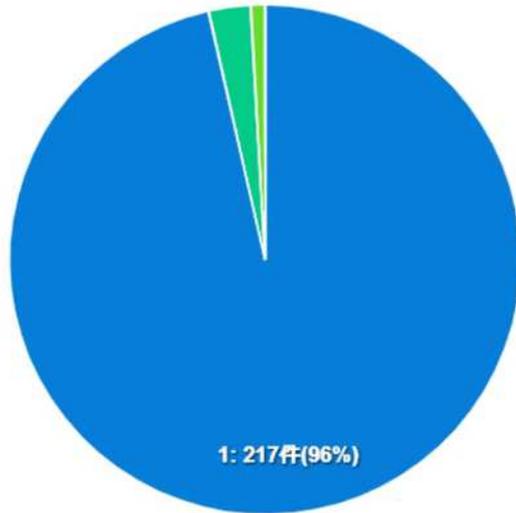
#### \* (2) 「いいえ」の主な理由

- ・そもそも統合してしまうと選択肢が減る。子ども一人ひとりのニーズの事を考えるなら、校区を自由化したらいいだけだと考える。

\* (2) 「いいえ」の主な理由《続き》

- ・校区を自由化すると、マイクロバスなどが出しにくいと思うのである一定の縛りは必要かと考えます。
- ・子どもの個性やニーズに対応させる事は賛成だが、必ずしも学校の規模が必然だとは思わない。財政的にも、ひとつの学校で、多様性のあるクラス編成でも良いのではないか。

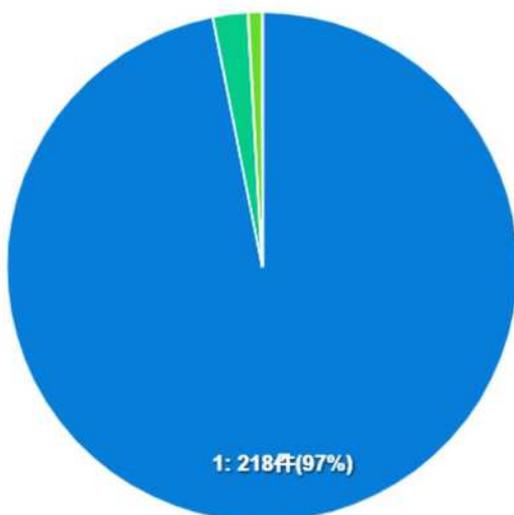
(3) 学校が統合された場合、通学距離が長くなるので、通学用のスクールバスを運行すべきである。



- 1. はい
- 2. いいえ
- 3. 未回答

	件数	%
1.はい	217	96%
2.いいえ	6	3%
3.未回答	2	1%

(4) 通学用のスクールバスを運行する場合は、できるだけ保護者に経済的負担をかけないように配慮すべきである。



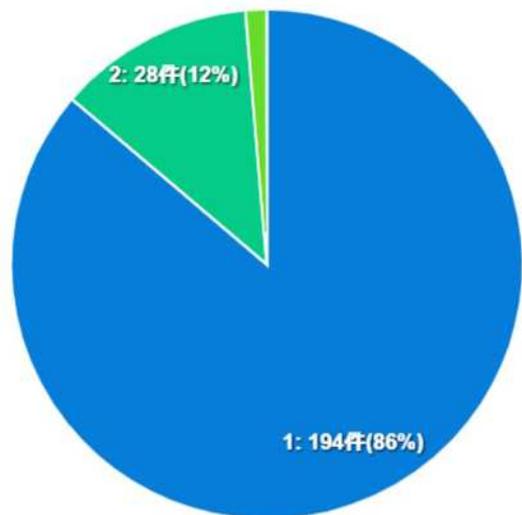
- 1. はい
- 2. いいえ
- 3. 未回答

	件数	%
1.はい	218	97%
2.いいえ	5	2%
3.未回答	2	1%

\* (3) ・ (4) 「いいえ」の主な理由

- ・少ない生徒の為に予算を使わなければならないのでは？

(5) 町内小中学校の防災上の課題や、校舎老朽化の課題を解消するためにも、近い将来、統合した上で新校舎の建設に取り組む必要がある。



- 1. はい
- 2. いいえ
- 3. 未回答

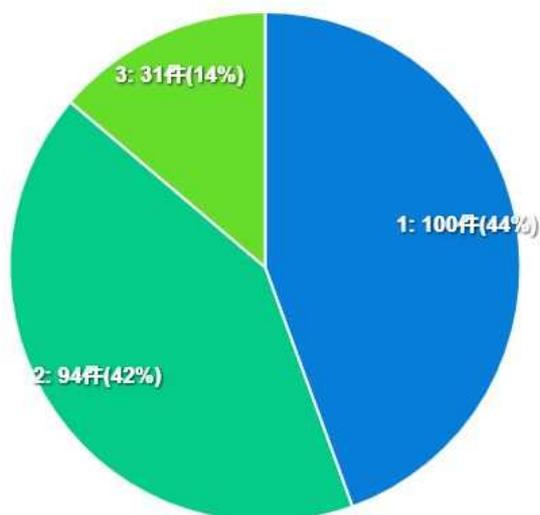
	件数	%
1.はい	194	86%
2.いいえ	28	12%
3.未回答	3	1%

\* (5) 「いいえ」の主な理由

・新築できればベストですが、予算、場所、時間を考えるとスピーディーに進まない気がします。
・財政上の理由で統合を検討するなら、新しい学校建設はあり得ないとするが。
・防災には様々なやり方がある。防災のために新校舎を建設するという考え方は結びつかない。

(6) 【(5)で「はい」と回答された方にお聞きします。】新校舎建設までの、当面の防災上の課題への対応として、次の①と②の2つの方法が考えられますが、よりよいと思われる方法を選択してください。

- ① できるだけ早急な対応が必要とされるため、既存の小中学校への一時移転を検討する。
- ② 学校での避難訓練や防災教育を充実させ、当面、現在の校舎の継続使用を検討する。



- 1. ① できるだけ早急な対応が必要とされるため、既存の小中学校への一時移転を検討する。
- 2. ② 学校での避難訓練や防災教育を充実させ、当面、現在の校舎の継続使用を検討する。
- 3. 未回答

	件数	%
1:①	100	44%
2:②	94	42%
3.未回答	31	14%

※その他にもご意見がありましたら、ご記入ください。

さまざまなご意見をお寄せいただきありがとうございます。紙面の都合上すべてのご意見を紹介することができませんので、「基本的な方向性」に関する主なご意見についてご紹介いたします。また、内容的に重複するようなご意見についても整理させていただいておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

スクールバスを運行していただければ、通学距離の面でも防犯面でもとても安心です。

子供達の命があってこそその新たな取り組み。災害に巻き込まれる前にしてほしい。仮統合すれば良い面悪い面が出てきて新たな学校を建てる時に活かせそうです。

阿田和小は津波の心配があり、実際、災害が起きた時に子供の命を守りきれぬのか大いに不安がある。避難訓練をしても、実際地震や災害が起きた時には、子供の足で走り続けるにも限界があると思う。踏切があったり地割れが起きた場合、紀南病院まで行けるか不安だ。

神志山小学校、尾呂志小学校は御浜町内では小規模な位置付けだと思います。阿田和、御浜小の保護者の意見よりも小規模学校保護者、子ども達の意見を尊重しないといけないと思います。多数決では小規模学校の家庭数が少ないので比較はできないと思いますが。

何年も前から討論されている難しい問題だと思います…災害は予想できないので、早急に進めてほしいのはもちろんですが、現状で出来る対策や予防をしっかりと学校生活を安心して楽しんでもらいたいです。

御浜町の経済的な負担とかも考え、合理的な判断が必要だと思います。町民の税金が上がり、生活が苦しくなるようでは、子供も増えません。そうすると、新しい学校を建てたとしても、無駄になる可能性もあります。

どこの小学校や中学校を残して使うとか、揉めて話が進まないといけないので、高台に新しい校舎を作った方が良いと思う。

大まかな方向性は確認できました。今後はこのアンケート結果等を通じてどのような具体化されるか、またその後も町民が内容の確認や意見などをできる機会の設置をお願いします。

もしスクールバスを運行する場合、帰りは1便だけでなく、クラブ活動をしている子たちのためにも遅い時間にもう1便あってほしいと思う。

御浜町全体の子供たちにとっては不意の、環境変化だと思います。環境変化に敏感な子供達には、最大限の配慮をお願いします。こちら最大限の子供のケアを致します。遅かれ早かれ必要不可欠だと思います。防災面もありますし、迅速な対応をよろしくをお願いします。

この先、小規模で生徒一人一人をしっかりと教育できる学校の需要が増えてくると思います。町が学校維持の予算を懸念するのであれば、維持費の少ないコンパクトな学校づくりを進めていくのがいいのではないかと思います。

【資料4】 少子化を見据えた学校規模の適正化・適正配置に係る  
「基本的な方向性1」の具体化案について《アンケート集計結果》

令和6年5月  
御浜町教育委員会

【基本的な方向性の1点目】

「今後も児童生徒数が減少していくという状況を踏まえ、子ども一人ひとりの個性やニーズに応じて学校を選択できるよう、町内の校区を自由化し、小学校・中学校ともに、それぞれ規模の大きな学校と小さな学校の2校ずつに統合する。」

を具体化するための次の案について、賛成できると思う場合は「はい」を、賛成できないと思う場合は「いいえ」を選択してください。また、「いいえ」を選択した場合、ご意見があればご記入ください。

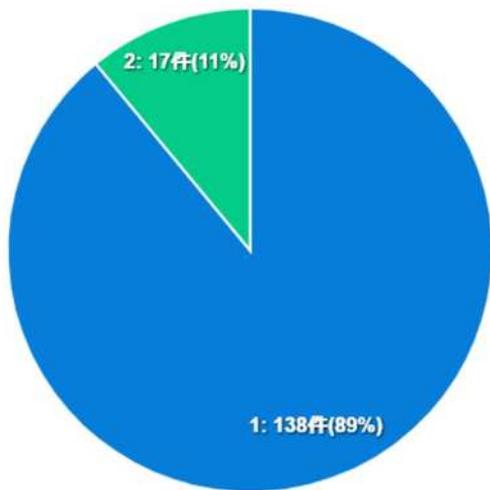
\*規模の大きな小・中学校について

「御浜小・阿田和小・神志山小の3校、阿田和中・御浜中の2校をそれぞれ統合する形で規模の大きな小学校・中学校を設置する方向で検討する」

\*規模の小さな小・中学校について

「既存の尾呂志学園小・中（小中併設校）を継続使用する方向で検討する」

《保護者》



● 1. はい  
● 2. いいえ

	はい	いいえ
阿田和小学校区	46	6
御浜小学校区	74	9
神志山小学校区	12	0
尾呂志学園小学校区	6	2
計	138	17
割合 (%)	89%	11%

◎神志山小学校区

いいえの意見

(なし)

その他の意見

子どもの数の減少を考えると選択するのは「はい」なのですが、地域から学校がなくなってしまうことによってなくなった地域に活気がなくなっていくことへの不安があります。

尾呂志にも行けるように、スクールバスを出して欲しい。

神志山小学校の体育館は新しいので、何か活用出来るなら残して欲しい。

尾呂志学園の使用には基本的には賛成。長期的運営（通学手段、給食対応）のコストも立地が圧迫しないかは検討したい

## ◎御浜小学校区

## いいえの意見

安全な場所にある程度まとめたら良いのではないのでしょうか？子供達もあまりにも少ない場所から大人数（高校に）に行くのは統計的にどうですか？私の周りは苦勞してる子が多かったので、辛いのは子供達だな、と感じています。

小学校3校、中学校2校、で充分じゃないでしょうか？御浜町自体、他の市町村に比べると子育て世帯などに対する政策が遅すぎると思うので、少しでも学校を減らし、少人数の学校にかかっているお金を減らすべきじゃないですか？通学用バスを出してあげてはどうですか？市和良保育所は、バスありますよね？

建設場所がきちんと示されていない段階で意見を求めるのはどうかと思います。建設場所を示して意見を聞く必要があると思います。

今は御浜小と神志山小を統合するだけで良いと思う。もっと人数が少なくなったら御浜小と阿田和小を統合したら良いと思う。全て統合してしまうと、通学に親の負担が大きくなる方が増え、もし、子供が通っている学校に合わない場合、他へうつることが出来なくなってしまうため。尾呂志学園は継続で良いと思う。

小学校は2校必要。御浜小と神志山小は一緒、阿田和は離れている為別の方が通い易いのでは。中学校も同じく。

## その他の意見

統合した場合、通常級ではなく、支援が必要な子たちは少人数で授業を受けられるのか。

誰でもそうだと思いますが、家（や職場）から近いところに学校があるのがいいと思います。統合に反対するわけではないですが、学校が遠くなる方への体制や方向性がわかってないので不安もあります。

反対意見ではないのですが、2校維持できなくならないかを懸念します。人数や予算の都合で維持できなくなって、1校になってしまうのであれば、今のうちに1校にしてクラスを分けるのもアリだと思います。

予算もかかるし、今建て替える必要があるのか再考する必要があると思います。統合したとしても一番力を入れるべきところは充実した学習です。御浜小学校区は人気があるので御浜小中学校は学校の位置としてはいいと思われます。学校周辺の地域の人柄もいいので子育て世代が集まっているように思います。

規模の大きな学校というが、2クラスに分けられる程の子どもが御浜町にいるのか。現時点で未就学児も含め、学年ごとに何人子どもがいるのか知りたい。

御浜中校区、阿田和中校区にそれぞれ一校は学校があるようお願いしたい。2クラスでなくなった祭、25人の人数を超えるようだと1人の担任の先生に任せるには広い校区であることを考えると、細やかな対応ができなくなる。ただ、学校を一つにすれば魅力的な学校になるわけではない。図書館などを併設するなど魅力的な学校にすることで、1校で良かったと思えるのではないか。

## ◎阿田和小小学校区

## いいえの意見

大規模校か小規模校か、本当に自由に選べるのか？自由に選んだ場合、小規模校を希望する人が多いと、小規模校にならない。小規模校に行ける基準のようなものがあるのか？また、小規模校が尾呂志学園だけだと距離が遠すぎる。

複数の学校を残すのであれば、小学校は、住人が多い阿田和を中心とした地区と、志原・市木地区に分けるべき。「海岸沿い」をまとめるとやはり徒歩で通学できる範囲に小学校のない場所は人が新たに住まない地区となり、御浜町はさらに衰退すると思います。以前のアンケートにもこのような意見を書きましたが「紙面の都合」とかで無視されました。それはおかしいのではないですか？アンケートの意見はたとえ教育委員会として都合の悪いことでも公表すべきだと思います。紙面もなにも、ネットで見るのではないですか？また、これまでのアンケートも誘導尋問的な質問ばかりで公平でないと思います。

同じ地区で小、中学校を統合いた方が良いのでは。阿田和小学校は津波などの事を考えると大変危険だと思いますし、中学校に使用していない教室があるならそちらを利用すれば良いのではないかと思います。災害時の事を考えると少しでも安全性のある校舎を利用して欲しいと思います。

個人にあった教育が行き届くと思うので

#### その他の意見

沢山の意見や問題点があるとは思いますが、通学の仕方や帰宅時間を思うと、近くに学校があれば嬉しいです。阿田和小、中を同じ校舎にして、神志山小、御浜小、御浜町中を同じ校舎に、そういった事は不可能なんでしょうか？スクールバスなど乗る時間が早くなると時間に追われるし用事や朝の体調不良などで遅れて登校したい場合、保護者が送って行かないと行けなくなる。仕事をしてると休めず、子供を学校休ませる事も多くなりそうで不安です。

阿田和小学校は災害時にとっても不安な為、安全な場所へ移動して欲しい。少子化で同級生が10人以下になったりするのは可哀想なので学校の合併には大賛成。でも通学が遠くなったりするならスクールバスなども検討して欲しい。

阿田和小、阿田和保育園の子どもたちが日々避難訓練を頑張っているが、統合までの間も安心して安全な場所で学習や保育を受けられるような措置を希望します。三重県立玉城わかば特別支援学校は生徒数が多くなった時代にプレハブなどで教室を増やして学習していたそうです。（松阪あゆみ特別支援学校開校前）教室数がたりなければ海拔の高い学校の校舎を間借りしてプレハブを建てて凌ぐなどはどうかと思いました。

こういうアンケートは携帯でするのが簡潔で良いかもしれないが関係ないや、面倒くさい、わざわざアプリを見ていない、関係ない、どーでもいいと思っている人がいるので票数がいるような大事な内容は授業参観などの時や家庭訪問などの時に強制的に先生たちが聞き取りをすべきだ。関係ないで終わらされていたら話もすまない。話を早く勧めて適切な行動をとってほしい派から言わせれば、いつまでこんな話で止まっているつもりだ？票が集まらなくても実行するならアンケートの必要性はないと思うのが普通。ちゃんと町と学校や保育園が連携して大事な皆さんに聞きたいことは、しっかり聞き取りアンケートや意見を聞いていくべきだ。

小中一貫校とか、中学校併設小学校とか、御浜町の特性を活かすカリキュラムとか、教育特区みたいなことはできませんか。近隣にはない独自のカリキュラムで「良い教育を受けるなら御浜町」となって子育て世代の人口も増えれば良いなと思います。

今度阿田和小学校6年生になる女子の保護者です。来年からは中学生になりますが、阿田和は人数が少なくクラス替えもした事がなく保育園からずっと一緒に、クラブ数も少なく選択肢がないので、御浜中学校に通わせたいと思っています。

◎尾呂志学園小学校区

#### いいえの意見

学校を減らすとゆう事は移住者が減ると考えられる

## その他の意見

学校を減らずに、校舎建て替えのみを考えるべき

現状に対する大まかな案に関しては賛成ですが、まず根本的に、今後も生徒数が減少していく、という設定でしか先を考えないのはいかがでしょうかと思います。町として増加を望むのであれば、その方向の未来も見据えた上で現状と照らし合わせ、方向性を考えて頂けたらと思います。この案件とは直接関係のない話のように聞こえるかもしれませんが、少しだけ。町の将来を案じて様々な方向で発展を考えるのであれば、町を挙げて、本気で自然に寄り添う町づくりができれば、確実に移住希望者は激増します。現在、移住してきた人々のほとんどが、そういった意識の人間ばかりです。今、日本はもちろん世界でも、多くの人達が、お金や経済ではなく、自然豊かな環境や、心が豊かな生き方を望んでいます。お金や利便性を求めるのであれば都会に行きます。本当に大切なものはまだ御浜町には残されていると思います。

子どもが減り続ければ、大きな学校でも一学年一クラスの人数になるかもしれないが、少人数で2クラスを維持した方がいいと思う。中学校が統合になるなら、おろし中学校も含めて、やりたい部活動を選べるようにして町のバスを走らせて部活動に参加できるようにしてはどうか？

## 《町民の意見》

◎御浜小学校区居住の町民の方

尾呂志学園中学校にどれほどのニーズがあるのかわかりません。中学校は統合でいいのでは。

南海トラフ巨大地震の恐れがあるので、安全性の高い所に学校があればよいと思います。

規模の大きな小・中学校について

統合により、一時的であるが集中化による生徒数の増加が見込まれるため、学校周辺の登下校時の交通安全が保たれるような場所への新設を検討されたい。保護者による朝夕の送迎が多くなっており、歩行者との交通事故の危険性が増している。

◎阿田和小学校区居住の町民の方

残念だが仕方ないだろう。しかし、残った校舎も、地域で利用できるなど、何らかのカタチで活用を検討すべき。学校は教室という特性上、各部屋で区切られているので利用しやすいだろう。また、耐震有無の問題もあるだろうが、例えば神志山小を宿泊施設にしてみてもどうか。『学校に泊まってみたい。』という潜在的ニーズはあると思われる。または、この音楽室はバンド練習スタジオとして、この教室は伝統芸能練習場として、この教室は地域物産の加工場として、といった活用方法は出来ないか。一方中学校では、△△校舎では野球部、卓球部、〇〇校舎ではサッカー部、文化部、テニス部など、これまで出来なかった部活の復活などの見直しや生徒のニーズを反映させるべき。そのためにはスクールバスなどでの移動も必要。

時代の流れを読むと統合はやむを得ない。

\*保護者・町民の皆様から寄せいただいたご意見はすべて掲載させていただきました。お寄せいただいたご意見は、今後の基本的な方向性の具体化に向けて参考にさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

【資料5】 少子化を見据えた学校規模の適正化・適正配置に係る  
「基本的な方向性3」の具体化案について《アンケート集計結果》

令和6年7月 御浜町教育委員会

【基本的な方向性3】

町内小中学校の防災上の課題や、校舎老朽化の課題を解消するためにも、近い将来、新校舎の建設に取り組む。

\*関連して、新校舎建設までの課題として、既存校舎へ「一時移転」するか、既存校舎を「継続使用」するかを選択が必要（保護者アンケートでは、ほぼ同数）

を具体化するための次の案について、賛成できると思う場合は「はい」を、賛成できないと思う場合は「いいえ」を選択してください。また、「いいえ」を選択した場合、ご意見があればご記入ください。

「基本的な方向性（3）」の具体化案

(1) 先に一時移転及び統合してから新校舎建設を進めるのではなく、できるだけ早急に新校舎を建設してから統合する方法を選択する方向で検討

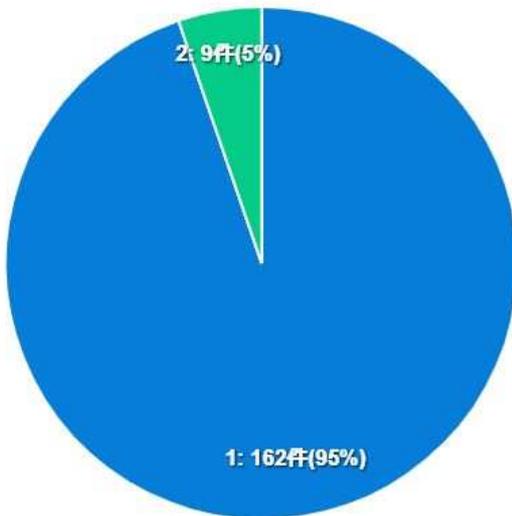
※早期建設のためにも、適正化計画策定を1年前倒し、令和6年度中とする

(2) 新しく建設する規模の大きい小学校・中学校は、小中連携教育を推進して学校の魅力を向上させる方向で検討

※【付帯意見1】小中連携教育を推進するためには、小学校と中学校を併設して建設することを検討する必要がある

※【付帯意見2】「広い用地の確保」、「防災面から高台にある土地」、「交通事情の良さ」、「用地取得が比較的容易」、「通学距離が極端に長くない（地域バランスの取れた）位置」などの条件を満たす用地を新校舎の建設場所として選定する必要がある

《保護者の意見》



● 1. はい  
● 2. いいえ

	はい	いいえ
阿田和小学校区	49	3
御浜小学校区	100	5
神志山小学校区	6	0
尾呂志学園小学校区	7	1
計	162	9
割合 (%)	95%	5%

◎神志山小学校区

いいえの意見

(なし)

その他の意見

まずは防災面が最優先で進めて欲しい。交通事情はコミュニティバスを活用したりスクールバスの導入で解決して欲しい。学地が狭いのはもっと具体的に全国の小学校と比較してどのくらい狭くなるのかデータを出して比較する必要があると思う。

## ◎御浜小学校区

## いいえの意見

小学校と中学校のそれぞれの統合は仕方ないと思います。しかし、小中の統合はそこまでする必要はあるとは思えません。具体案が理想的とする広さの校舎と校庭と駐車場を確保出来る候補地は現実的にあるのですか？候補地を示してもらえないと賛成しにくいです。(運動会などのイベントには保護者の駐車場が必須です)小学校と中学校を同じ土地に建てるまでする必要はあるのでしょうか。少人数であれば中学生と小学生は仲良く交流できると思いますが、大人数では気持ちに距離感が出て、よっぽど指導しないと難しいと思います。小学生と中学生は感覚が別物で、指導も違うと思います。交流するなどは言いませんが、敷地は別にして程よく距離を保つのが良いと思います。

小中併設には反対です。義務教育の間、校舎は違ったとしても登下校全く同じ顔ぶれで何の緊張感もない。もっとワクワク感やドキドキ感を感じてほしい。

配布された内容を見て、早急な新校舎建設は必要性は理解できます。一時移転は、費用の問題等で課題多く困難とりました。具体化案も教育や魅力ある学校等、理想的ですが…尾呂志学園のような小中連携は、2クラス規模で可能なんでしょうか。先生達の困惑や多忙にならないのか心配です。校舎が別の方がメリハリも付くように思います。新校舎ができるまでの防災の面での課題(阿田和小中)を第一に進めて頂きたいです。

小中連携で小中の併設された学校については、特に望んでいません。独立の校舎で良いと考えます。おろし学園には、もちろんおろし学園の良さはありますが、全てそのようにしなくても良いと思います。独立していても、例えば小学校高学年の授業に中学校の教員を派遣した出前授業や、小学校高学年と中学校の生徒と一緒に一つのことを学ぶプロジェクトなどを用意するなどして、連携していく方向を探るなどは、難しいでしょうか？なぜなら、御浜小の位置は、防災的に良いと思いますし、また御浜中学校の位置も防災的には良いと思います。それをさらにまた別の併設できる位置を探し出す方が大変な労力とお金を使うのではないかと考えます。今ある、校舎を拡大して行く方が、良いのでは？と思います。

## その他の意見

阿田和小中が統合、御浜小中が統合、というのが通学の利便性としては推したいが、現存の小学校同士の統合と中学校同士の統合の方が、人数と広さに影響が少ないかなと思います。新校建設までの課題で、御浜小に阿田和小の子が加わったらプレハブ建設や校庭狭いとあります。しかし、現状の御浜小は学年1クラスずつ。阿田和と合体しても2クラスになるだけでは？3クラスになるほど人数いますか？10年位前までは当たり前だった人数に戻るだけでは？校庭も2クラスの数でやっていけていましたよね。デメリットとしては、空き教室が無くなることで、算数の授業をジックリとグングンに分ける事が出来なくなる、とかでしょうか。これも2クラス合同でコース分けすれば解決しますか？これまでの案内で子どもの数は減少していくと予測される、と常々伝えられてきたので、統合による面積の心配は不要では。

条件を満たす用地が現在の時点で候補に上がっているところがあるなら、具体化案に入れてほしいです。

尾呂志学園が培ってきた…実践を参考にとあるが、よい面も悪い面もあると思うので、よく考えて進めていただきたい。教師の小中兼務とあるが、現実的に可能なのか、無理があるのではないかと考えます。これからの小中学生の教育のためにictなどの予算をさらにつけていただきたい。よろしくお願いします。

緑橋より山側の橋にあるみかん畑がいっぱいの土地(萩内団地の山側)なら高台であり、紀南病院まで通る予定の道だと聞いたので阿田和からも御浜からもアクセスしやすく良いのではないと思う。また、高校も一緒に高台移転新築してほしい。今後を見据えて小中高校が一緒でも良いと感じます。小中高が協力できる町としてモデルになるのではと考えます。木本高校も紀南高校も低地にあり移転を考えなければならないと思うので、国や県からも補助金等申請し、今後の教育モデル町として頑張してほしい。

必然的に自宅から距離も離れるため、連絡のやり取りや出欠確認等をアプリ等を活用したり、在宅授業等もできるような環境づくりなどを初めから盛り込んだ設計にするなどどうせ新しく建てるのであれば、現時点で良いので新しい技術などを取り込みやすいように計画して欲しい。

◎阿田和小学校区

いいえの意見

小学校と中学校の併合は不要かなと

いつ来てもおかしくないと言われている南海トラフや災害があった時に不安すぎます。何より子供達の命を守ってほしいです。アンケートを頂いては回答していますが、何もかもが決まって実行される頃には子供は大きくなって関係ない話なのではないかとさえ感じています。これから良くなってくれと期待して阿田和にいるより今のところ安全そうな他の小学校へ行かそうか悩み中です。

その他の意見

早く統合してほしい。来年娘が中学生になりますが、阿田和は人数が少なく保育園からずっと一緒なので。御浜中学校へ通いたいと言ってるので、クラス替えさせてあげたいし、教育委員会へ希望出しに行こうと思っています。

新校舎が建てることのできるようなよいリッチ条件が揃うような場所があるのか。決定される前に、候補地がいくつか住民に提示されるのか。また、そのようなよいリッチ条件が揃う場所であるなら、避難所としても機能できるような建物の設計等も検討されるのか。

同じことをアンケートするばかりで進んでいない気がする。具体化案のことも前と変わらず。その上でどうするのか素早く決めて頂いて、実行して欲しい。行政的にはどうしたいのか。こちらに意見を求めても、結局はその通りにならないので、行政で方向性を決めてからしっかり住民に提示して下さい。その方が早いと思う。

自家用車による送迎が必要になる場合を想定する必要があると思います。

保小中一貫教育の方向性も考えてはどうか。御浜からも阿田和からもアクセスしやすい場所を希望する。例えば寺谷公園を有効活用すると、グラウンドは作る必要がないメリットもある。

◎尾呂志学園小学校区

いいえの意見

生徒数が多いのであれば小学校と中学校を併設する必要はないと思います。

その他の意見

(なし)

## 《町民の意見》

### ◎御浜小学校区居住の町民の方

広い用地の確保が早急にできるのでしょうか？小中連携教育は推進でいいと思いますが、大規模校を一校には通学に無理があるように思います。具体案はあるのでしょうか。魅力ある御浜町を打ち出し子育て世代が増える（移住したいと思える御浜町）施策をすることも大切だと思います。学校がなくなることは地域が廃れることになります！今更ながら阿田和校区、御浜校区を維持してほしいと思います。

具体化案1については、場所が確定してから考えてもいいのではないかと思います。場所によっては御浜小中学校、阿田和小中学として小中一貫校を2つ建設するというのも案に入れて考え直してもいいのではないかと思います。基本的な方向性とは違いますが、新しく建設する校舎について変なデザインにこだわるのではなく、子どもも教師もさまざまな活動がしやすい校舎を意識してほしいです。

広報7月号と違うの？統合によるデメリットについても考えて欲しい。何故御浜小2クラスでの体制が無理なのか？以前は2クラスであった。

### ◎阿田和小学校区居住の町民の方

御浜小学校に統合してから新校舎を建設するのが一番速い。今の児童のことを考えているのならば、そうするはず。建設が終わるまで待つのは今の児童のことを考えてない。

## 【資料6】少子化を見据えた学校規模の適正化・適正配置に係る 「基本的な方向性2」の具体化案について《アンケート集計結果》

令和6年10月 御浜町教育委員会

### 【基本的な方向性2】

統合する場合、通学距離が長くなるので、通学用のスクールバスを運行する。また、スクールバスを運行する場合は、できるだけ保護者に経済的負担をかけないように配慮する。

を具体化するための次の案について、賛成できると思う場合は「はい」、賛成できないと思う場合は「いいえ」を選択してください。また、「いいえ」を選択した場合、ご意見があればご記入ください。

### 【基本的な方向性2】の具体化案

#### (1) 新校舎への通学について

\*小学生：徒歩通学を基本とし、通学距離がおおむね4km以上の児童はスクールバス通学の対象とする方向で検討

…今後も通学距離をより短縮できるよう検討

\*中学生：自転車通学を基本とし、通学距離がおおむね6km以上程度の生徒はスクールバス通学を選択できる方向で検討

\*スクールバスでの通学時間は60分以内とする方向で検討

…今後も通学時間をより短縮できるよう運行方法を検討

\*乗降場所は児童生徒の安全が確保できる場所とする方向で検討

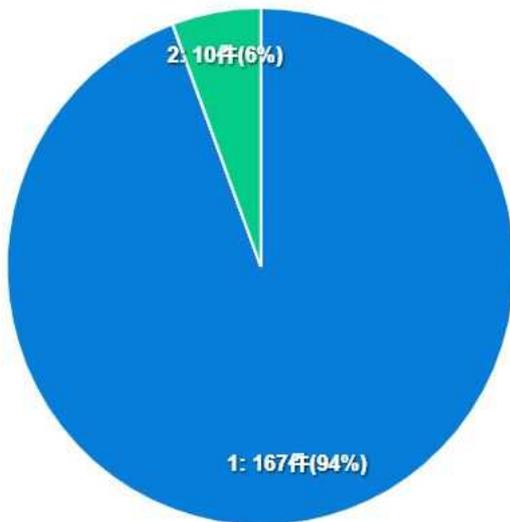
#### (2) 尾呂志学園への現在の校区外からの通学について

\*小学生・中学生ともにスクールバス利用の対象とする方向で検討

#### (3) スクールバス運行に係る費用について

\*原則として保護者負担なしとする方向で検討

### 《保護者の意見》



● 1. はい  
● 2. いいえ

	はい	いいえ
阿田和小学校区	63	5
御浜小学校区	88	5
神志山小学校区	9	0
尾呂志学園小学校区	7	0
計	167	10
割合 (%)	94%	6%

◎神志山小学校区

いいえの意見

その他の意見

バス停をもうけたスクールバス兼コミュニティバスでもいいので安全面（熊、猿、不審者）に配慮した通学手段を希望します。

## ◎御浜小学校区

## いいえの意見

スクールバス通学の対象が4km以上という点が、対象の距離が長すぎるため反対である。安全面や長時間の通学による熱中症のリスク等考えもう少し対象の距離を短くして欲しい。萩内方面に学校を建設するという噂があるが、市木や志原方面から徒歩で登校する児童は、野地本工業付近の横断歩道に信号がなく、道路が直線のためスピードを出し、歩行者がいても一時停止しない車が多く非常に危険。最悪の場合死亡事故が起こる可能性がある。また、その付近は津波や洪水・土砂災害マップの浸水区域であり、安全面に不安がある。子育て世代はマイホームを持ち始める世代であるが、せっかく現在の小中学校の近くに家建てたにもかかわらず、場所が変わると、通学距離がかなり長くなり、スクールバスの送迎対象にもならない区間になってしまう世帯は、非常に悔しい気持ちである。スクールバスの対象にならなければ、結局は親が送り迎えをすることになり、共働きの家庭が多い中、親の負担が増えることになる。

スクールバスは今後維持費なども考え、今あるバス停まで歩きバス停から学校に行く事にした方が少人数になった時変わらないと思う。維持費より子供が歩かないと体力もつかず今後体力が心配。一般のお客さんがいた方が子供の体調不良なども気付いてもらいやすい。一般を使うことで町民と交流があり町全体で子供を育てる温かな雰囲気町になりそうで期待したいです。

4kmを小学生が歩いて毎日通学するのは現実的に厳しいと思うからです。

新校舎への通学についてですが、現在学校まで1.8kmで、徒歩30分かかります。今年の夏は特に暑く熱中症の心配がありました。通学距離が4kmまでが徒歩になると1時間は歩く事になります。徒歩の距離を短くしていただきたいです。

『(1)新校舎への通学について』に書かれている通学距離、おおむね4km以内でも必要と思われる家庭があると思う。例えば、余り家や車が通らないなど、通学途中で大人の目に触れないなど。

## その他の意見

低学年に4キロの距離は、大丈夫なのではないでしょうか?!とくに夏

スクールバスの運行が4km以上の児童が対象とのことですが、ここ最近の夏の暑さも考えて夏場の徒歩登校は厳しいのではないのでしょうか。熱中症心配です。2km以上からスクールバス希望です。

途中で早退する必要が出てきた場合もバス送迎が可能になるよう柔軟な運行をお願いしたい。その場合は、例外として保護者に負担を求める必要はあると思います。(朝の登校も都合等で遅れてしまう場合も含める。)

部活動などで違う中学校に転校した子供の交通費も半額負担するなど頑張っている子供応援補助金などがあると子供のやりたい!を育てれると思います。

バスに乗れる乗れないの線引きは距離だけではなく多様な議論をお願いしたいです。悪天候の時や、早退時のこととか。

施行令では、4kmと6kmとなっているが、実態に合わせて柔軟に対応して欲しいです。

尾呂志学園の立ち位置が分かっておりませんが、通学は可能な限り親の送り迎えなしで行える方が良いかと思っています。屋根ありの集合地をルート化し、そちらまでは各自で行くことが望ましいです。

通学の時、費用が掛かっても、そちらの方が安心できると思っているご家庭があれば、スクールバスを利用したいかどうか聞く。スクールバスの運行道路上で、近くに小学生がいないなどある程度の条件は必要。

## ◎阿田和小学校区

## いいえの意見

公費スクールバスは最低条件だと思うのでその意見には賛成だが、自分の感覚的に4kmも小学生を歩かせるのは遠すぎると感じる。これでは保護者の負担を増やすことにつながし、通学時間での格差ができるのではと心配である。

成人で徒歩80メートル1分であれば小学生ではもっと時間がかかる。成人で4000メートル歩いて50分とすれば小学生低学年となると相当時間を要すると思います。悪天候時など更に時間を要するし安全面でも懸念があるのでスクールバス対象者の範囲はもっと広げるべき。

スクールバスで60分以内。通うだけで疲れる。朝早く支度をしなければならないし。帰りも真っ暗で、どこで乗り降りできるのか具体的ではないので心配。

- (1) 夏場の気温を考えると、小学生に4km歩かせるのは危険。2kmまでにすべき。
- (2) 中学生でも、夏場の気温を考えると、4kmまでにすべき。
- (3) 賛成

スクールバス利用対象の距離が遠すぎる。距離を短くして対象者を増やして欲しい。小学生概ね4キロ未満徒歩、中学生概ね6キロ未満自転車通学は子供達が大変だと思う。ランドセルや荷物を沢山持って登校は大変。自宅が遠く、スクールバス対象にならない家庭は親が送迎する事になり、負担が増えると予想される。

## その他の意見

スクールバスの対象ですが、小学生の片道おおむね4キロは長いように思いますので短縮を是非ご検討ください

賛成の立場で意見させていただきます。通学距離をより短縮できるよう検討とありますので、是非短縮していただきたい。小学生低学年の子どもたちは3kmでも徒歩での通学は大変だと思いますので、低学年は2km以上は対象にするなど。

スクールバスが可能となる距離について、遠すぎるように思います。再考をお願いします。

昔と違って夏はかなりの暑さだと思います。スクールバスにのれるのは4キロ以上の児童だけなのはちょっと、と思います。1度大人も子供と同じように炎天下の中1時間以上歩いてみて下さい。子供は大人より歩くのに時間もかかります。もうすこし短縮するべきだと思います。

具体化案のようにするのであれば、大規模な区画整理、再開発が必要。

スクールバス利用対象は遠くても3キロ以上だと思う。

## ◎尾呂志学園小学校区

## いいえの意見

## その他の意見

## 《町民の意見》

### ◎御浜小学校区居住の町民の方

スクールバスの運行について、現状の徒歩の通学状況を考慮して「今より歩く距離が増えて通学が辛い」状況にならないよう配慮できればよいと思います。

保護者負担は無いのがよいと思いますが、その負担は町民全体で担うことになるので、バスの多目的利用（児童生徒以外も乗れるコミュニティバスのような利用、公共物（学校・支所・連絡所・松濤園・清掃センター・診療所、紀南病院、郵便局などからの文書や荷物）の役場への輸送など）や広告収入、ネーミングライツ、企業版ふるさと納税の募集などの負担軽減策を導入すれば、ユニークな事例として、町や町の教育環境のPRになるとと思います。

集合場所は風雨を避けられる屋根があればいいと思います。

保護者負担なしのスクールバスでいいのでは。

### ◎阿田和小学校区居住の町民の方

子ども達の為にも早期実現を期待しています

※回答いただいた意見はすべて掲載させていただきました。みなさまからのご意見は今後の適正化計画（素案）の検討に当たって参考にさせていただく予定です。

※町外から通学する児童生徒のスクールバス利用に関する要望もありましたが、個人が特定される可能性があるため掲載していません。また、アンケートの趣旨から外れた意見についても、ご意見としてはお受けしましたが、掲載はしていません。

## 【資料7】御浜町立小・中学校適正配置基本計画(素案)の パブリックコメント(意見募集)《集計結果》

令和7年2月 御浜町教育委員会

### \* 意見を提出できる方

- ・町内に住所を有する方
- ・町内に通勤、通学されている方（通学されている方の保護者）
- ・町内に住所を有していなくても、今後も含めて御浜町に関係のある方

### \* 意見の募集期間

- ・令和6年12月末～令和7年1月31日

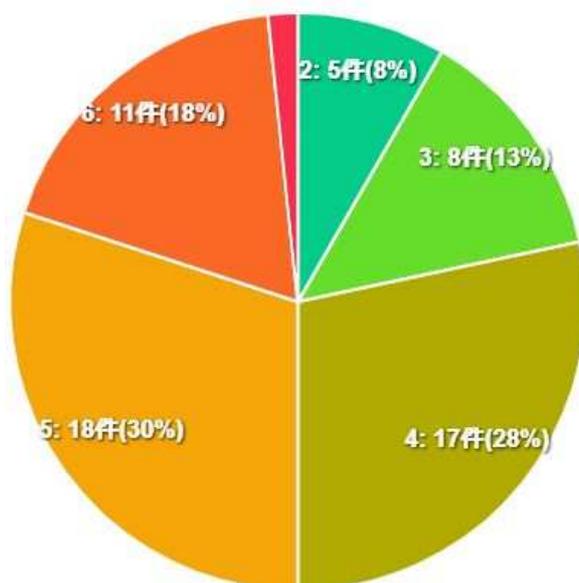
### \* 意見の提出方法

- ・広報みはま（R7年1月号）のQRコードを読み取り、記入フォームに入力して提出
- ・御浜町教育委員会と御浜町中央公民館にて、意見記入用紙に記入して提出

### \* 意見の取り扱いについて

- ・窓口及び電話での口頭による意見は受付できません。
- ・単に賛否の結論を示しただけの意見や、計画等の内容と直接関係ないと判断した意見は受付できません。
- ・提出された意見は「広報みはま」や町HPで公表します。ただし、意見提出者の名前や住所等は公表しません。
- ・意見に不適切な表現が含まれていると判断した場合には、その全部又は一部を公表しないこととします。また、提出された意見について、類似の意見があった場合は、まとめて公表する場合があります。
- ・提出された個々の意見に対し、提出者個人に直接回答はしません。
- ・提出された意見は本計画の策定に向けて検討を行っている御浜町総合教育会議に提出します。

### ①意見の提出数（人数）と年齢層



- 1. 10代以下
- 2. 20代
- 3. 30代
- 4. 40代
- 5. 50代
- 6. 60代
- 7. 70代以上

年齢	件数
10代以下	0
20代	5
30代	8
40代	17
50代	18
60代	11
70代以上	1
計	60

・記入フォーム：59件 ・意見記入用紙：1件

## ②提出された意見

児童生徒数の減少、校舎の老朽化、南海トラフ地震の到来などを背景に、子ども一人ひとりの個性やニーズに応じた学校選択を可能にできる計画であると思います。子どもたちだけでなく保護者の方にとっても安心安全な学校づくりとなりますよう、よろしくお願いします。

小中学校での学びは、人格を形成していく過程で、一人一人に大きな影響があると思っています。卒業しても、校歌が流れれば、自然に口ずさみ、幼いころの記憶がよみがえります。ただ、人によっては、つらい記憶となっている方もあるとは思いますが。この度、将来の子どもの学びについて、避けられない人口減少の中、大切に計画を進めていただいていることに感謝し、だれもが大切な学びの場となるような学校となることを要望します。

小中一体型の校舎により、長期間にわたり児童生徒との関わりを持つことができることや中1ギャップの問題も緩和されると思います。スクールバスの保護者負担なしで進めてもらえることについて、ぜひともお願いします。児童生徒の安全のため、添乗員による見守りが確実にされるようお願いしたいと思っています。

基本計画（案）新校舎の建設、各学年2クラス以上、小中一貫教育、どれも子どもたちのために一日も早く実現していただきたい、最優先事項だと考えました。

職員としての立場というより、保護者としての立場の意見なのですが、自分の子どもの時のことも考えると保育所から中学校までメンバーがかわらないのはあまりよくないなと思いました。その部分で小中が一緒となると、やはり小と中のあいだで少し環境だけでも変わる、小と中の（同じ場所にあっても）きちんとした区別をつけていくほうが良いなとは思っています。

比較的大きな規模の学校を建築する際は、設計前の段階から現場の教職員の意見も十分聞いてほしいと思います。デザイン重視の設計会社等のプランのままでは機能性や維持管理に支障が出る可能性があります。建築予定の学校においては小中併設の良さはもちろんあると思いますが、併設になることでのデメリットも考慮の上、校地・校舎のレイアウトなども十分検討してください。なにより数年後の学校のことも重要だと思いますが、現在通学している子どもたちや教職員にとっての安心安全な環境づくりを置き去りにすることなく、適切な改修なども随時していただきたいと考えます。

○子どもたちの健康や避難所になることを想定して、体育館にも冷暖房設備をお願いいたします。

○どのような建物にするか、現場の声が反映されるようお願いいたします。

基本計画の内容に賛成します。防災上の課題や、老朽化の課題は、こども達の命を守る為にも、早急に解決が必要な事だと思うので、開校時期が前倒しできるよう、スムーズな計画実現を望みます。

新校舎の移転場所によっては通学路の整備も必要ではないかと思いました。

素案に賛成ですが、新校舎の建設スケジュールがもう少し早まると、防災面の課題を抱える学校に通学している児童の安全が確保できるのではないかと思います。様々な準備があるため、難しいとは思いますが。

B案は校区の真ん中にあり通学しやすいとも思いますがC案の星山地区もB案の市木地区からもそう遠くないので阿田和駅やピネ 紀南病院も近く御浜町の中心地にあり生活基盤が一番整っているためB案よりもC案が適していると思います。

御浜町の小中学校の統合は、防災や校舎の老朽化の面でも仕方がないことだと思います。新校舎の統合にあたって、いろいろな課題がなるべく出ないようにスムーズに移行できるよう希望いたします。

新校舎建設と現存する尾呂志学園の規模の異なる2校あることにより、選択の余地があることはやはり子どもにとって良いと感じる。また、新校舎設立場所に関しても、B市木地区にすることで御浜の中での中心部分になり通学時間がだいたい平等に保たれるのではないかと思う。スクールバスも保護者の方の負担がないように考えてくださっていてありがたいと感じた。

・昨今の子どもの減少を見ていると、学校の統廃合は致し方ないと思う。校舎の老朽化も進み、防災の観点からも新校舎の建設は必要である。設置場所については、防災や児童の登下校のことなど安全面を一番に考えていただきたい。

・新校舎建設にあたって莫大な予算が必要になると思うが、統合までの間、現在の学校に通う児童生徒に不利益のないようにしていただきたい。（例えば、備品の購入を控えるとか）

#### ○教師の小中兼務について

・中学校において生徒の減少により教員の臨時免許を取得してもらうことで授業している現状があります。教員の小学校に勤める教員で中学校教員を持っている教員はたくさんいます。中学校の臨時免許解消につながります。専門外の教科を教えることによる負担は相当大きく、中学校の教員の先生方の労働環境の改善につながるのではないかと思います。また、生徒にとっても専門の学習を学ぶことができメリットは大きいと思います。小学校においても特に高学年の授業を中学校の教員にもっていただくことで、児童が専門的な教育を受けることができるメリットは大きいように思います。また、小中でお互い授業を見合うことで授業力の向上がみこめます。しかし、これらのことは教員の持ち時間が今より少なくなることが前提だと思えます。そのような教員配置をよろしく願います。

#### ○学校の建設場所Bについて

・校区が広がることによって、担任の移動時間が広がるのが懸念されます。家庭訪問をするとなると、遠いところだと、行くのに15分、戻るのに15分、あわせて30分かかります。勤務終了までに使える放課後の時間の1時間～1時間30分の大半を割かなくてはいけなくなります。きめ細やかな対応をするためには、学校・教員の働き方の努力だけではどうしようもない部分があり、担任の負担削減ができるよう持ち時間を減らせる働き方の制度設計を考えていく必要があるかと思います。

・各地区の地域の人から学校が離れてしまわないよう、各学校で行ってきた地域学習のノウハウと人脈をうまく新しい学校につなげられるようよろしくお願いします。

社会現象等勘案して、小中併設の統合等、計画されている内容はとても良いと思います。建築については、教室数を余裕のある数に、また合理的な教室配置等、子どもたちがしっかり学習できるようにしてあげてほしいと思います。

子どもの安全(防災・防犯)や安心を第一に考えていただきたい事、また学習環境が整っていることを望みます。支援を要する子どもが増えてきているのが現状であることもしっかりと考えていただきたいです。まずは現場を見ていただき、現場の意見を取り入れてください。

児童生徒数の減少、教職員の減少、児童生徒の安全面等を考慮すると適正化は必要だと感じる。ただ、現場の意見を十分反映できるよう、丁寧にすすめてほしい。

防災面から考えて、早急に安全な場所への移転、新校舎の建設を行なうべきだと思います。

町内の学校に勤務しているが、老朽化の進行が感じられるところが多く、早急な新校舎建設に賛成である。新校舎の建設候補地や、通学手段についても賛成である。

老朽化や防災面での課題がある学校があるため、新校舎建設はいいと思います。授業をする上での電子黒板やプロジェクター、カラー印刷など教具を充実したものにしてください、より良い授業研究ができるといいと思いました。車を止めれる十分な駐車場の確保もいただきたいです。

新校舎の建設候補地は町内中心付近の市木地区が良いのではないかと思います。

現在、町内の学校に勤務しております。20年近く熊野市で勤務し、初めて御浜町に赴任しました。子どもたちが抱える様々な問題に行政、福祉、学校が非常にうまく連携が取れていることが素晴らしいと感じています。一方で、財政状況の厳しさも様々な点で感じます。そこで、「新校舎での教育のあり方」「小中一貫校を推進するための環境整備について」の2点において、いくつかご意見させていただきます。まず、子どもたちが新校舎において使用する学校備品、教材備品については、もちろん現在各学校で使用しているものの中からまだ使用できるものを活用するかと思います。しかしながら、私が勤務する学校にも、かなり老朽化した備品が多数あります。どうか可能な限り精査していただき、新しい備品を入れていただきたいです。次に、ICT教育についてです。現在御浜町では、テレビにパソコン等の画面を投影する形です。どうか新校舎では、熊野市や紀宝町のように各教室にプロジェクター（できれば天井に固定）とスクリーンを設置していただきたいです。さらに、小中一貫校の学校運営については、これだけ大規模な学校は近隣地域にはないかと思うので、管理職、教職員に、県内の同規模の学校でのシステムを研修する機会を設けてほしいです。

人間関係構築、社会性の涵養、という面からも、学校を統合することのメリットは大きいと思う。

尾呂志学園は残しつつ、少子化が進むなか、町内小中学校を統合して、できる限り1学年2クラスを維持していくという方針に賛成いたします。また、新校舎に移転することで、この地域で発生が懸念される東南海地震に対する防災体制が図られ、児童生徒の安全安心が図られることは町として重要なことであると考えます。待望の新校舎建設なので、色々和研究いただいて、設計を進めていただければと思います。

給食センターの新設をお願いします。学校や保護者の意見を多く取り入れていただきたいです。防災倉庫など設置した場合、非常食を給食の緊急対応にも使えたらいいなと思います。

防災上、できるだけ津波の心配がない場所が良いです。かつ通学時間に差が出ないように配慮をしていただきたいです。子どもたちが快適に過ごせる環境とともに、教職員の働きやすい環境整備も整えてほしいです。それが子どもたちにかえていくと思っています。

町内で児童生徒数が減少しているため、今回の措置はいいと思いました。またいずれも小中一貫校であり、人数規模が違うということなので、選択する際に分かりやすいと思いました。

子どものために学校の近い所へ家を建てました。建った後にそのような話を聞いてショックでした。負担のないようにして頂きたいです。（送り迎えなど）

小中一貫教育が、系統的な教育の推進や子ども理解につながる。

新校舎の建設候補地は、他の候補地と比較して条件を満たしていると思われる。

新校舎の建設物だけでなく、教室内などのさまざまな最先端の教育設備が期待される。

小学校の高学年のこどもたちは、直接自分たちのことではないが、アンケートを通して、今後の御浜町の小中学校の適正配置計画を知ることができた。

適正配置基本計画に賛成します。小中一貫教育の推進についても、教科担任制の導入や小中学校の連携もうまくいくと考えます。

早急かつ、子どもたちや地域の、保護者の意見を多く取り、様々な意見を、出して、検討してもらいたいと思います。

子どもたち、御浜町で育つ自分に誇りを持って、安心して成長できるように、新しい校舎でたくさんの友だちと共に切磋琢磨しながら協働できる学校の適正配置基本計画に賛成します。

基本計画の具体策の中に「1学年2クラス規模の学校とすることが必要」とあるが、今から6年後の新小学校児童数が予測しにくい中、果たして1学年2クラスの児童生徒数を確保できる見通しがあるのだろうか？

現在、各校で老朽化の問題が深刻化している。新校舎設立については、児童生徒が安心・安全に登校することができる理由の一つとして、よいと思う。また、新校舎設立については、来たる南海トラフ地震など、そのほか自然災害に備えつつ、児童生徒がなるべく負担なく登下校ができることが優先すべき立地条件だと感じる。それに伴い考えると、個人的には新校舎建設候補地の三箇所のうち、Aの志原地区が妥当かなと感じる。

令和12年度より新校舎併用開始ということだが、それに伴い、校舎等の整備だけでなく、児童生徒がスムーズに安心して移行できるよう、はやめはやめの段階でとりくみが必要になってくるのかなと感じる。（例えば子どもたち同士が交流する場面をつくり、関係性を築いていくなど）

バスの運用など、今までと大きく変わる部分がたくさん出てくると思う。しかし、別問題として教職員の業務の多さが今日課題となっている以上、教職員の負担が大きくなってしまような業務や学校運営にならないようすすめていく必要性を強く感じる。

防災の視点、老朽化した施設で現在学んでいる児童生徒のために1日でも早い校舎建築を望みます。施設、設備に関して学校現場の職員の声を反映させる仕組みづくりも期待します。

建設場所は高台で防災面において安全であることを望みます。また遠距離通学となるので、スクールバスの無料や行事や授業時間に合わせた臨機応変な運行がなされるようにお願いします。

学校の老朽化問題もあり早急な新校舎の建設を進めて頂きたいと思います。

子ども達が安全で過ごせるように、周りの危険にも気づけるように、対人関係にも気をくばり、大人が気づいて対応する。新校舎では安心と安全な環境で過ごせるようにと思います。

児童生徒の人間関係の構築や、学校環境の状況、防災面など、多角的に見ても、統合し規模を拡大して、新たな場所に設置する必要性を感じます。

校舎の老朽化、出生人口の減少もあり、御浜町の適正化は必要であると考えます。町民の避難場所としての役割も勘案し、施設の設備を整える必要があると思います。

津波被害に遭わない高台で、学校プラス避難場所としても使用出来る建物になると良い。

御浜町立小・中学校適正配置基本計画（素案）について、適当な計画案と考えます。

現状の課題解決はもちろん、町の魅力を向上させ、新たな人の流れを創出し、暮らし続けられる御浜町となるような基本計画になるよう、期待すると同時に、計画策定後は、計画に基づき住民と行政が一つになって将来を担う子どもたちの学びの環境の充実を実現すべきと思います。

非常によく練られた計画だと感じます。何より、真摯に取り組みを進められている教育委員会の対応には、全幅の信頼を寄せられるだけの熱意が感じられ、きっといい学校が建設されることと、そこで元気に学ぶ児童生徒の姿が今から心に思い浮かびます。ワクワクするような2つの規模のそれぞれの特色・個性を備えた教育の実現に邁進してください。大いに期待しています。

Aが広くて通いやすい！

学校適正化に合わせて、オーガニック給食の導入も検討できないでしょうか？子供達の健康にも、多角的に町の活性化にも繋がると思います。

家から近くなりますし小学生と中学生の兄弟がいる子は一緒に登校できるのでいいと思います

子どもたちの教育環境の向上だけでなく、町の未来につながる象徴的なプロジェクトとして計画が可視化できるといいのではないかと思います。

高速道路をはじめとした道路網の整備や学校周辺の開発などを加味した、町づくりの想像図のようなものがあれば、より期待感のある事業として多くの町民のみなさんから支持を得られるのではないのでしょうか。

この計画の実現により、御浜町が旧来の地域（集落）ごとのまちづくりから『ひとつの町（ワンタウン）』としての新しい新しい枠組みのまちづくりに移行できるのではないかと期待しています。

①令和12年度から新校舎の供用が開始されるとのことで、自分の子どもが中学3年生になる年度になります。校区が自由化され、新校舎に通学するか規模の小さな尾呂志学園に通学するかは自分の子どもに選択してもらおう考えです。尾呂志学園への通学を希望する子どもが想定以上の場合、規模の小さな学校しか通えない子ども達への配慮として尾呂志学園の定員・校区外の子どもが通学できる条件を設定する必要があるのでしょうか。また、魅力ある学校づくりとして、尾呂志学園に通う子ども達が新校舎にしかない部活動（団体競技等）があるならば、新校舎の部活動にも参加できるようになればいいなと思います。

②スクールバス運行に係る費用は原則として保護者負担なしとしていますが、家庭の事情で遅刻・早退等が必要な場合に、最低限の費用を例外的に徴収する必要があるのでしょうか。柔軟なバス運行を可能にするために、将来的には費用の徴収も視野に入れる必要もあるのかなと思います。

ずっとスクールバスのある小規模校に勤務していましたが、実際のスクールバスの運行とはスムーズにいかないことも多々ありました。生徒の常習的な遅刻、乗らない時の連絡不行き届き、運転手さん、保護者、管理職の連絡の煩雑さなど、小規模でも色々あるのに、中規模でやるのは大変でしょう。最初のルール作りは丁寧に行う必要があると思います。

また、小中の教員が相互に授業を担当するとありますが、以前、中学校教員は小で教えられるが、小学校教員は中で教えられないと聞いたことがあります。そこは、どうなのでしょう？

A志原の候補地は、県道が整備されており、周囲に住宅が多く、人の目につきやすい点で非常に良いと感じました。一方で、B市木とC阿田和の候補地については、海拔30m以上と記載されていますが、周辺の道路がハザードマップ上で浸水が想定されており、特にB市木については、浸水時に孤立する可能性が懸念されます。また、B市木地区は周囲の住宅が少なく、人目につきにくい印象があり、その点も心配です。

いずれの候補地にもメリット・デメリットがあるため、判断が難しいところではありますが、総合的に考慮すると、個人的にはA志原が適しているのではないかと考えます。なお、通学距離については、遠方の地区にはスクールバスが運行されると伺っており、その点は問題ないように思います。

5年後に実現予定とのことで、それまでに震災等が起こることも想定されるので、早め早めに行っていただくと安心です。どうぞ御浜町の子どもたちの安全のためによりしくお願いいたします。それまでに、津波の心配や避難の必要がある学校や園にはヘルメットやライフジャケットを配布する等も検討していただくと嬉しいです。（保護者負担も有りでかまわないと思います。）

○スクールバスの運行について

- ・インフルエンザ等の感染症が流行した際にも、運行はされるのか。また、可能な範囲での感染対策等をする予定なのか。（例:バスの本数を増やすなどして、一度に乗車する人数を分散させる）
- ・部活動などで朝練や放課後の活動等で登下校時間が人によりバラバラとなることが想定されるが、その対応方法はどうか。
- ・部活動等で土日祝に登校する必要がある場合、スクールバスはあるのか。無い場合は保護者や公共交通機関による送迎となると思われるが、その場合の費用負担についてはどうか。

○校区の自由化について

- ・住所地在尾呂志学園校区の場合、希望すれば小学校入学時から大規模校区へ行くことは可能なのか。また、その場合の通学手段について、スクールバスでの通学になるのか。
- ・徒歩通学となった場合の人通りが少ない場所や空き家が多い場所を通る時の不審者対策。（見守りなど）
- ・津波が発生しそうな大きな地震の時は保護者への引き渡しではなく学校が避難場所となる。もしくは率先して、さらに高台への避難移動を行うようにしてほしい。（車やスクールバスの場合、沿岸沿いの道を通る可能性があるため津波に巻き込まれやすい）

【資料8】「御浜町立小・中学校適正配置基本計画」へみんなの想いや考えを！

～御浜町の魅力ある学校づくりに向けて～ 《児童・生徒アンケート集計結果》

令和7年2月

御浜町教育委員会

集計結果より：

8項目すべてにおいて、児童生徒の60%以上（62%～88%）が肯定的な意見を選択してくれました。一方で、否定的な意見は6項目において10%以下（4%～9%、②20%・⑥13%）となっています。このことから、児童生徒たちはこの基本計画におおむね賛成してくれていると考えられます。

また、“御浜町の魅力ある学校づくりに向けて”子どもたちが一生懸命考えてくれた「意見」についても、新しい学校の開校に向け、大いに参考にさせていただきたいと思えます。

\* 調査対象：

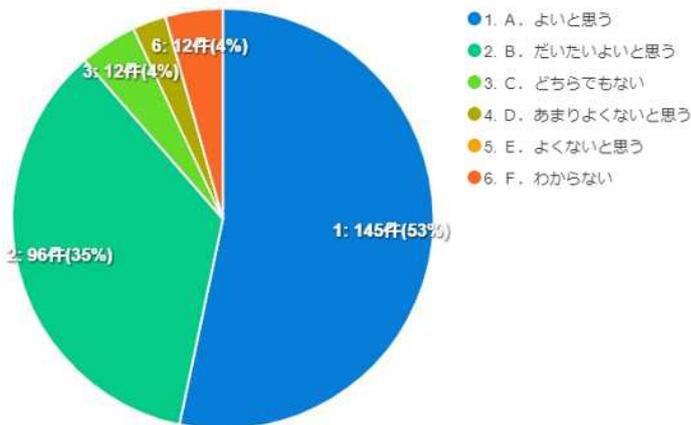
・町内の小学5・6年生と中学生（対象者数306名） ・回答数273（89%）

\* 回答方法：

8項目の設問について、次の1～6の中から自分の想いや考えに一番近いと思うものを選択

1. よいと思う                      2. だいたいよいと思う                      3. どちらでもない  
4. あまりよくないと思う                      5. よくないと思う                      6. わからない

① 学校を統合しても子ども一人ひとりの個性やニーズに応じて行きたい学校を選べるようにする。（校区の自由化という）



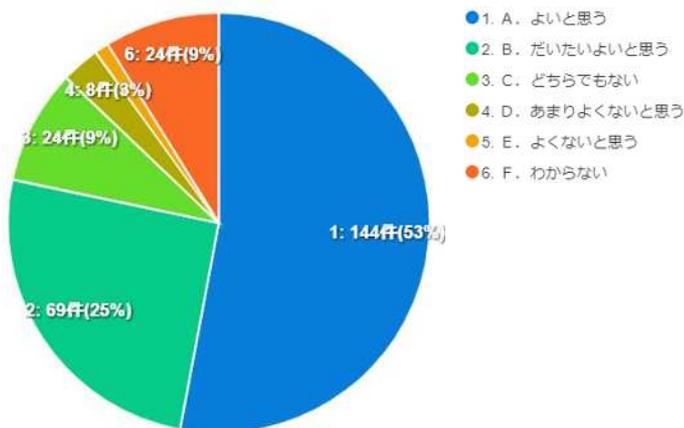
	件数	%
1.よい	145	53%
2.だいたいよい	96	35%
3.どちらでもない	12	4%
4.あまりよくない	12	4%
5.よくない	7	3%
6.わからない	12	4%

② 今のままだと児童生徒数が減り学校もどんどん小さくなっていくが、クラス替えのできる1学年2クラス規模の大きな学校を作るために、神志山小・御浜小・阿田和小の3校と統合して小学校1校、御浜中・阿田和中の2校を統合して中学校1校にする。



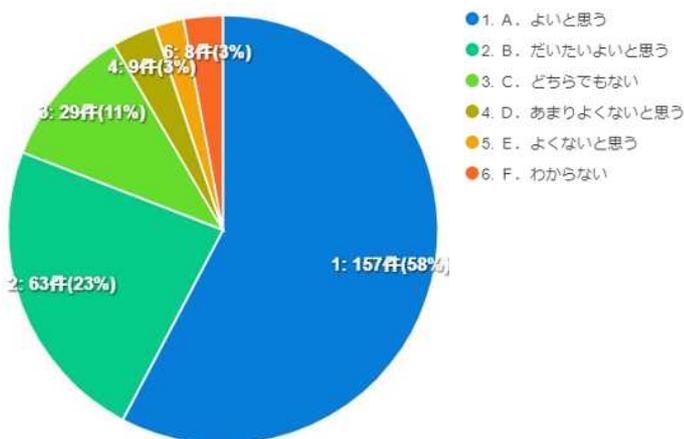
	件数	%
1.よい	106	39%
2.だいたいよい	63	23%
3.どちらでもない	28	10%
4.あまりよくない	35	13%
5.よくない	18	7%
6.わからない	22	8%

③ ていねいな少人数での教育を受けたいという子どもや保護者の希望に応えるために、規模の小さな学校である現在の尾呂志学園小学校・中学校はこれからも継続する。



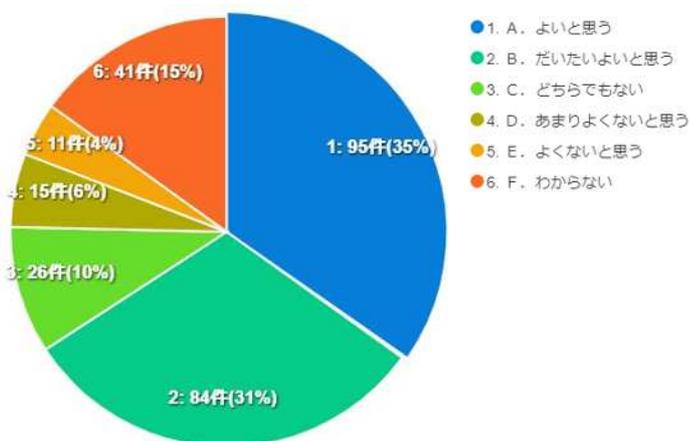
	件数	%
1.よい	144	53%
2.だいたいよい	69	25%
3.どちらでもない	24	9%
4.あまりよくない	8	3%
5.よくない	3	1%
6.わからない	24	9%

④ 津波や土砂災害などの防災上の課題や古くなった校舎の課題を解消するために、できるだけ早く新校舎を建設してから学校を統合する。(統合より先に新校舎を建設)



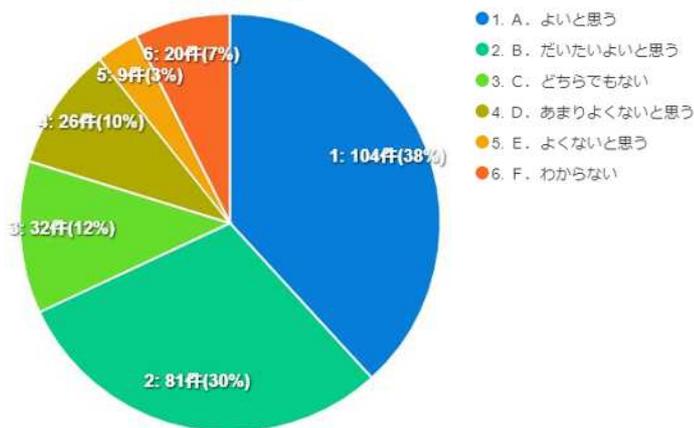
	件数	%
1.よい	157	58%
2.だいたいよい	63	23%
3.どちらでもない	29	11%
4.あまりよくない	9	3%
5.よくない	6	2%
6.わからない	8	3%

⑤ これまで尾呂志学園において、小学校と中学校が協力・連携して進めてきた小中9年間を見通した系統的な教育を参考にして、新しく建設する1学年2クラス規模の小学校・中学校も小中9年間の途切れのない教育(小中一貫教育)に取り組み、特色のある学校として御浜町全体の学校の魅力を向上させる。



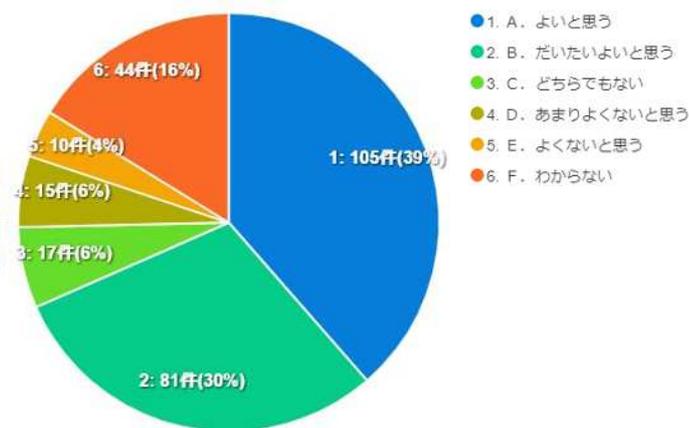
	件数	%
1.よい	95	35%
2.だいたいよい	84	31%
3.どちらでもない	26	10%
4.あまりよくない	15	5%
5.よくない	11	4%
6.わからない	41	15%

⑥ 少しでも早く少子化・防災・校舎老朽化などの課題を解決するため、小学校と中学校を一緒の場所に建設して、できるだけ早く新校舎を完成させる。(小中併設校)



	件数	%
1.よい	104	38%
2.だいたいよい	81	30%
3.どちらでもない	32	12%
4.あまりよくない	26	10%
5.よくない	9	3%
6.わからない	20	7%

⑦ 新校舎の建設候補地については、次の表⑦のように3か所についてそれぞれ5つの条件を検討した結果、児童生徒や町民にとって魅力のある学校を建設するために、次ページの図⑦の「B. 市木地区(南平)」を建設候補地とする。

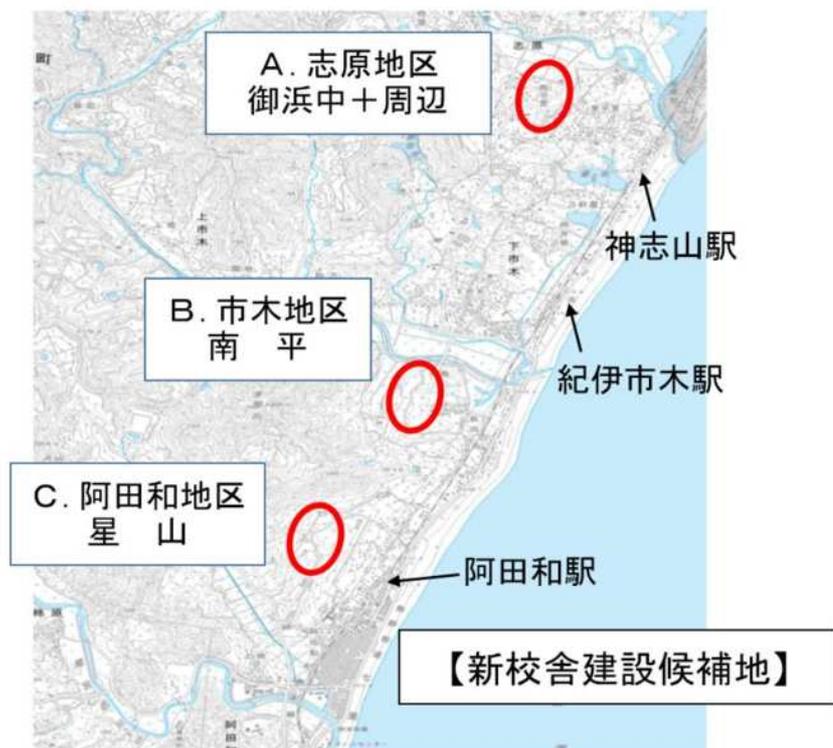


	件数	%
1.よい	105	38%
2.だいたいよい	81	30%
3.どちらでもない	17	6%
4.あまりよくない	15	5%
5.よくない	10	4%
6.わからない	44	16%

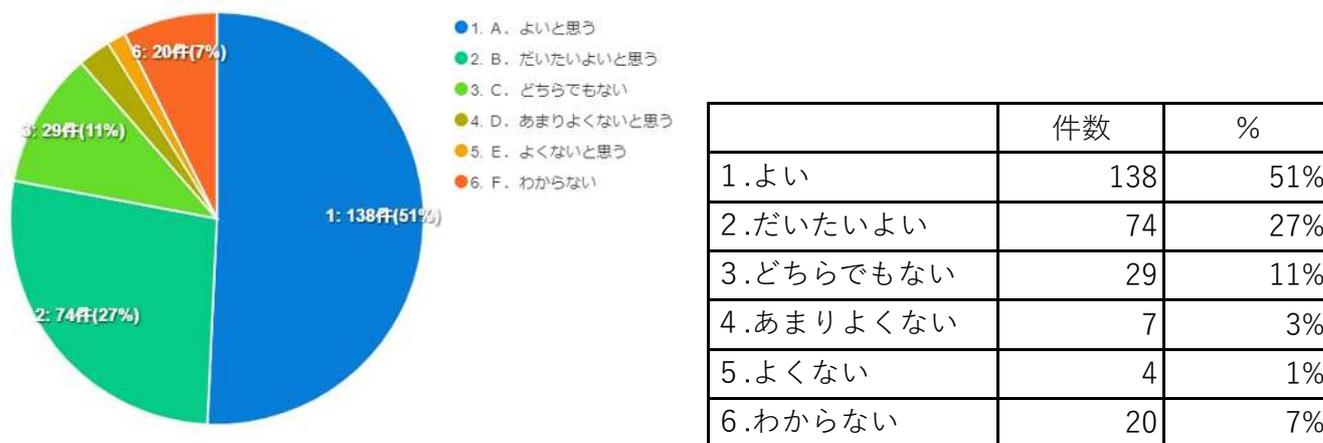
表⑦

候補地 条件	A. 志原地区 (御浜中+周辺)	B. 市木地区 (南平)	C. 阿田和地区 (星山)
高台 (優先)	現在の御浜中は海拔およそ28m	海拔 30m以上の高台にある	海拔 30m以上の高台にある
広さ (優先)	現校地だけではおよそ24,000 m <sup>2</sup> しか確保できない	40,000 m <sup>2</sup> 以上の用地を確保できる	40,000 m <sup>2</sup> 以上の用地を確保できる
用地取得	用地の追加取得が必要 *住宅地および農地	全用地の取得が必要 *農地(住宅地はない)	全用地の取得が必要 *農地(住宅地はない)
交通事情	御浜中前の県道は整備されており、スクールバスの乗降も安全	阿田和方面からの町道がせまい(将来は県道開通予定)	今後は県道開通予定、町道紀南病院線の道幅を広げて整備する予定
通学距離	阿田和方面からは遠い	町内海岸沿いの中心付近	市木・志原方面からは遠い

図⑦



⑧ 新校舎の建設場所にもよるが、統合すると通学距離が長くなることが考えられるので、新校舎へは次の表⑧のように通学する。



表⑧

区分	通学方法
小学生	徒歩通学を基本とし、通学距離がおおむね2～3km以上の児童はスクールバス通学の対象とする（今後も2kmまでに短縮できるよう検討）
中学生	自転車通学を基本とし、通学距離がおおむね4～5km以上の生徒はスクールバス通学を選択できる（今後も4kmまでに短縮できるよう検討）
※尾呂志学園への町内校区外からの通学は、小・中学生ともにスクールバス通学 ※スクールバスを利用する場合も、通学時間はおおむね30分以内 ※乗降場所は、学校や公民館など安全が確保できる広い場所	

※そのほかに意見があれば書いてください。

トイレが綺麗がいいと思う
小中一貫にして校舎を一つにしたほう良いと思う
阿田和のところは市木や神木、志原の人たちは遠くなるから反対。
校舎を建てるのも反対ですし小中学生合併は色々問題などが起こると思います
近いところに避難場所がないので阿田和（星山）に建設してほしい。
御浜中学校は阿田和と統合するのではなく尾呂志と統合するのが良いと思う。
生徒のみんなが体を動かされるように、遊具や、広い校庭を確保してほしい。
運動場はなるべく大きくしてほしい
制服可愛く
椅子や机、その他の設備や道具を快適な学校生活を送れるように新しい物にしてほしい
建設コストを減らすために少し土地を減らす。浮いた金で校舎の設備をよくする
できるだけ早く新しい学校をつくってほしい
バスでは、あまり登下校はしないほうが良いと思う。事故などが起きたときとうりみちなどが塞がれたりけがをしたりするかもしれないから。
親の思いや考えを聞いたほうが良いと思う。子ども達が安心して学校生活をおくるのがいちばん大切だと思う。
教室広くしてほしい
楽しく学校に行けるように時々楽しい事を学校側で考えれば良いと思う。(みんな遊びなど)
9年間とぎれのない学校するには小学校の校舎と中学校の校舎を分けたほうが良いと思う。中学校にあがったときに「中学校に上がった」というじっかんがあるから
先生たちの負担が多そう
震災が来て、衣食住がない人のためにテントや食料などを大量に保管できる倉庫がいると思う。バスはお金がかかりそう。体育館を避難場所にするならもっと大きくしたほうが良いと思う。費用は税金なのか、土地がなかったらどうするのか。子どもがもっと少なくなる前に早く建てたほうが良いと思う。
みんな楽しく授業できると思った。中学校は、2校で良いと思った。
もし、御浜と阿田和と神志山がつながったら、休み時間などに一人でいる人が出てきてしまうんじゃないかと思った。
スクールバスの乗降場の位置は主に広く、安全面がきちんと取られる場で、少し遅い時間でも明かりがついているのが良いと思った。
みんながたのしくとうこうできるようにする
楽しいがっこうにしてほしい
みんなが登校しやすい道にする
新校舎を早く建設したら、きれいな学校になって、学校の良い宣伝になって、人も集まってくるかもしれない。建設場所は、どこからもなるべく近いほうが良いから、真ん中の方のBが良いと思う。
小学生の人数が、多いのは、いいことだけど多すぎてもだめな気がする。
いろんな友達に出会えるからいいとおもった。
今後使われなくなる校舎をどうするか
家が遠い人もいると思うので小規模の学校も必要だと考える。